



# 精神医療センター一年報

平成 21 年 度

滋賀県立精神医療センター

# 滋賀県立精神医療センター

## 【理 念】

人権と環境に配慮し、調和にみちた総合的精神医療活動を行う

## 【基本方針】

私達がめざすものは、

1. 保健・福祉を統合した科学的な医療と看護
2. 文化に根ざした患者本位の社会復帰
3. 信頼と協働による地域連携
4. 健全で効率的な運営

## はじめに

滋賀県立精神医療センターも開設後18年が経過しました。この間、精神科医療や精神保健福祉の分野においても著しい変化がありました。

身体、知的、精神などの障害は、簡単にいえば生活の障害です。その障害の程度に応じた社会参加ができれば、地域での生活を送ることができます。この自明な理屈が、精神については長く認められませんでした。

それは、「ライシャワー事件」(昭和39年3月統合失調症患者が、アメリカ駐日大使に傷害を負わせた事件)を契機に、精神科入院施設が急増し、入院中心の医療が進められ、精神障害者施策は「医療」に著しく偏重してきたからです。

しかし、ようやく精神についても身体や知的障害と同様に「福祉」の対象となる障害の一つであると認められてきたものの、精神の障害者に対する福祉施策は他のそれに比べて不十分な現状です。

また、この間、精神障害者施策に影響を与えた事件として、「池田小学校殺傷事件」(平成13年6月大阪教育大学附属池田小学校に侵入した男が児童8名を殺害、児童と教諭に傷害を負わせた事件で、犯人は精神障害者を装った詐病)があります。

この事件をきっかけに、平成15年に触法精神障害者を対象とした「医療観察法」が施行されました。この法律については様々な議論があるものの、指定入院医療機関の施設整備が全国的に進んでいます。

そのような流れの中、当センターは、平成17年7月に医療観察法指定通院医療機関に指定されています。

従来の精神保健福祉法下での入院による治療終了後の社会内生活における福祉施策が不十分な現状がある中、医療観察法による退院後の施設等の整備がなければ、退院後の地域での社会生活は困難となります。

どのような精神障害者であっても、その障害の程度に応じて当たり前地域で生活ができる社会を目指し、全職員一丸となり頑張ります。

今後とも御支援、ご協力をお願い申し上げます。

平成22年12月

滋賀県立精神医療センター 病院長  
辻 元 宏

# 目 次

## I. 総括編

精神医療センターの沿革と概要 .....	1
1. 施設 .....	6
2. 組織 .....	8
3. 経営 .....	9

## II. 診療部門

概要 .....	1 3
1. 外来診療状況 .....	1 4
2. 入院診療状況 .....	1 7
3. 救急・緊急受診状況 .....	2 0
4. アルコール医療の現況 .....	2 1
5. 思春期医療の現況 .....	2 3
6. 内科医療の現況 .....	2 4
7. 薬剤科 .....	2 5
8. 放射線科 .....	2 6
9. 検査科 .....	2 7
10. 栄養指導科 .....	2 8
11. デイケア科 .....	3 0

## III. 看護部門

看護部の概要 .....	3 5
--------------	-----

## IV. 地域生活支援室

地域生活支援室の概要 .....	4 1
------------------	-----

# I. 総 括 編

## 精神医療センターの沿革と概要

滋賀県立精神医療センターは、本県の精神保健対策を進めるにあたり、県下の精神保健活動の中核を担う施設として平成4年6月に竣工、同年9月から業務を開始した「精神保健総合センター」の精神科病院としてスタートした。

滋賀県立精神保健総合センターは、県民のあらゆる精神保健のニーズに総合的・専門的に対応し、精神的健康の保持増進から精神障害の予防・治療・社会復帰までの一貫したきめ細やかなサービスの提供を保健・医療・福祉等関係諸機関との連携・協力のもとに行う精神保健活動の中核を担う施設として「精神保健福祉センター」を核に、「精神科病院」、「精神科デイケア施設」を併設する全国2番目の総合施設として設置されたが、平成18年4月から「精神医療センター」と「精神保健福祉センター」の2センターに組織改編され、当センターは地方公営企業法全部適応の病院となるとともに、センター間の連携を密にし、有機的に関連づけることによって精神保健医療の拠点施設の役割を担うことになった。

施設は、びわこ文化公園都市の福祉の文化クラスター内に位置し、みどりに囲まれた56,000平方メートル余りの広々とした敷地内にある。建物は、100床の病棟を含め延床面積8,100平方メートル余りで、明るい雰囲気を保っており、敷地内には地域の方々との交流を深めるためのテニスコート（2面）、グラウンドおよび憩いの庭園を設けた「ふれあい広場」がある。ほかに、職員宿舎2棟（40戸）がある。

業務は、診療部門は、精神科・神経内科・内科で構成され、思春期、アルコール依存症、内科合併症、および緊急医療を中心に、MRI等最新医療機器を活用した精神に関する専門医療を行い、精神科デイ・ケアではプログラムに基づき社会復帰訓練等を行っている。

組織は、病院長、次長の下に、事務局、診療局、看護部、地域生活支援室の4部局室制で局長および部長が各部局室を総括している。職員は92名（平成21年度末現在）で、内訳は○病院長1名、○次長1名、○事務局7名（事務局長は次長が兼務）、○診療部門（診療局各科、看護部）78名○地域生活支援室5名（室長は診療局長が兼務）を配置し、部門間の連携を図るため、相互の兼務を行っている。

経営は、約15億円の規模である。収支状況をみると、総収益は14億5,777万円で、総費用は14億2,054万円で差引3,723万円の経常利益を計上し、前年度に引き続き黒字決算となった。医業収益は8億8,329万円で、医業費用は13億1,815万円であり、医業費用対医業収益の比率をみると149.2%であり、前年度に比べて若干改善されたものの、依然として収支のバランスが悪い状況となっている。引き続き一層の経営努力を行い、収支の改善を図るとともに、関係機関との連携を深めながら、県民の精神的健康の保持向上の拠点施設として、精神保健医療体制の充実強化に努めていくことが必要である。

所在地 滋賀県草津市笠山八丁目4-25

敷地面積(\*) 56,870平方メートル(うち地域ふれあい広場10,700平方メートル)

構造 鉄筋コンクリート2階建

規模(\*) 延床面積8,151.09平方メートル  
病床数 100床

建設総事業費(\*) 54億1千3百万円(職員宿舎を含む)

(\*) 精神保健福祉センター敷地面積、事業費等含む

開設年月日 平成4年6月1日(9月1日から業務開始)

職員数 定数96名(平成21年度末現員92名)

診療科目 精神科 神経内科 内科

設立の理念 地域医療機関や保健所等関係機関との密接な連携と役割分担のもとに、思春期精神障害、アルコール依存症等精神障害、その他の適応障害の発生予防、治療および社会復帰援助を総合的・専門的に行い、地域ケア体制の形成を進め、県下の精神医療の拠点施設として向上を図る拠点となることを目指す。

業務内容

- 外来診療 精神科、神経内科、内科
- 入院診療 100床(平成4年度50床)
  - ①地域医療機関との連携を行い、思春期精神障害、アルコール等中毒性精神障害、精神障害と内科疾患との合併症、精神科緊急対応等を中心とした医療の提供
  - ②入院治療を行い、早期の社会復帰、社会参加の促進
  - ③地域医療機関や保健所等関係諸機関との有機的連携による、予防から治療、社会復帰までの一貫した援助の確保
  - ④医師、看護師、ケースワーカー、臨床心理士、作業療法士、精神保健福祉士等各職種によるチーム医療の実施
  - ⑤適時適温給食の実施
  - ⑥MRI、CT等高度専門医療機器の導入
- 外来診療 精神科デイ・ケア(定員40名)
  - ①回復途上の精神障害者に対する生活機能の回復訓練
  - ②地域における社会復帰活動の援助育成

## 1. 経緯

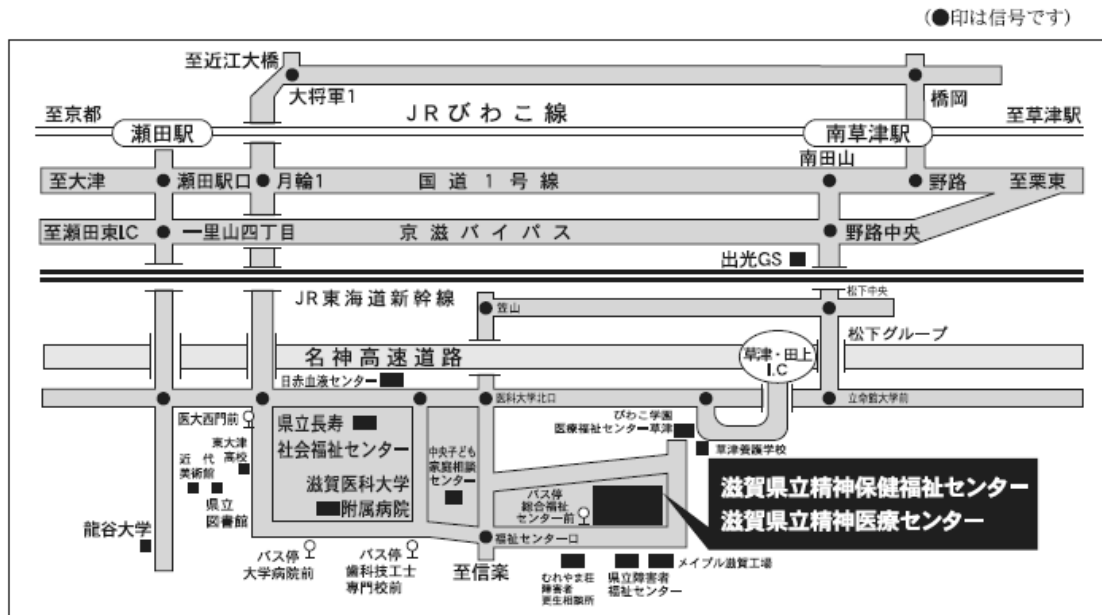
平成元年	4月	精神保健総合センター開設準備室の設置
平成2年	3月	実施設計完了
平成2年	12月	精神保健総合センター起工
平成4年	5月	精神保健総合センター部分竣工
平成4年	6月	竣工 開設 精神保健センター部門業務開始
平成4年	9月	病院部門業務開始 外来、入院業務 (50床)
平成4年	10月	精神科デイ・ケア部門業務開始
平成5年	4月	こころの電話相談業務 (こころまる) 開始 労災保険指定病院の指定
平成5年	5月	100床にフルオープン
平成5年	10月	結核予防法指定医療機関の指定 原爆被爆者一般疾病医療機関の指定
平成6年	10月	新看護体系移行
平成7年	11月	精神障害者就労相談業務開始
平成9年	4月	滋賀県精神科救急医療システム事業開始 精神科救急医療施設の指定
平成11年	4月	臨床研修指定病院の指定 (協力病院)
平成12年	6月	応急入院指定病院の指定
平成13年	8月	病棟増改築工事起工
平成14年	3月	病棟増改築工事竣工
平成17年	7月	医療観察法指定通院医療機関の指定
平成17年	9月	(財)日本医療機能評価機構 病院機能評価 (Ver.4.0) 認証取得
平成18年	4月	地方公営企業法全部適用 組織改編に伴い、精神医療センターに名称変更
平成20年	3月	病院情報システム (オーダーリングシステム) 導入



## 2. 施設基準

平成 5 年	4 月	精神科デイ・ケア（大規模）
平成 6 年	6 月	療養環境加算
平成 12 年	4 月	精神病棟入院時医学管理加算
平成 12 年	7 月	精神科応急入院施設管理加算
平成 15 年	9 月	薬剤管理指導料
平成 16 年	4 月	褥瘡患者管理加算
平成 18 年	4 月	精神病棟入院基本料（1.5 対 1）、看護配置加算、看護補助加算 1、 精神科ショート・ケア（大規模）
平成 18 年	5 月	救急医療管理加算・乳幼児救急医療管理加算
平成 18 年	8 月	栄養管理実施加算
平成 18 年	11 月	CT 撮影及び MRI 撮影
平成 20 年	4 月	医療保護入院等診療料
平成 21 年	5 月	検体検査管理加算（I）
平成 21 年	7 月	精神科身体合併症管理加算
平成 21 年	11 月	精神科急性期治療病棟入院料 2

### 3. 付近見取図



#### ◆JR 瀬田駅から

##### ○バス(滋賀医大方面行き)

大学病院前下車 徒歩 10分  
 歯科技工士専門学校前下車 徒歩 5分

##### ○タクシー約 15分

#### ◆JR 南草津駅から

##### ○バス(草津養護学校行き)

総合福祉センター前下車 徒歩 1分

##### ○タクシー約 10分

#### ◆名神高速道路 草津田上 IC から 約 5分

# 1. 施 設

## 1. 施設の概要

- (1) 位 置 草津市笠山八丁目 4-25  
 (2) 土 地 56,870 m<sup>2</sup> (うち地域ふれあいの広場 10,700 m<sup>2</sup>)  
 (3) 建 物

名 称	構 造	特 別 面 積 (m <sup>2</sup> )				備 考
		1 階	2 階	塔 屋	延面積	
本 館	RC造 (一部SRC造)	4,964.25	2,685.94	89.79	7,739.98	
付 属 棟	RC造	168.00			168.00	倉庫、マニホールド、 コンプレッサー、ご み置場、ガスメータ ー
車 庫	RC造	96.70			96.70	
薬品排水 機 械 室	RC造	9.55			9.55	
浄 化 槽 機 械 室	RC造	27.19			27.19	(倉庫に転用)
焼却炉棟	鉄骨造	16.00			16.00	(休止中)
自転車置場	鉄骨造	53.66			53.66	
便所・用 具 倉 庫	RC造	40.01			40.01	(地域ふれあいの広場)
合 計		5,375.36	2,685.94	89.79	8,151.09	

## (4) 病棟構造

階	病棟名	総病床数	個 室	4床室	2床室	保護室
1 階	第1病棟	50床	12室	9室	—	2室
2 階	第2病棟	50床	12室	8室	2室	2室
合 計		100床	24室	17室	2室	4室

## 2. 主要備品

品名	型式	数量	備考
〔内科診察〕 電子内視鏡システム 超音波診断装置	EVIS200 システム (オリンパス) XarioXG (東芝)	1 1	
〔検査〕 血液自動分析装置 生化学自動分析装置 検査情報システム 脳波計 全自動化学発光酵素 免疫測定システム	ヘマトロジーアナライザーHmX (コールター) TBA-120FR (東芝) CLIP (日立) EEG-1518 他 (日本光電) ルミパルス S (富士レビオ)	1 1 1 1 1	
〔放射線〕 磁気共鳴断層撮影装置 X線CT装置 明室システム 診断用X線TV装置	マグネトム IMPACT (シーメンス) SOMATOM Spirit (シーメンス) FCR システム (富士メディカル) DTW-220A (東芝メディカル)	1 1 1 1	
〔薬局〕 全自動錠剤分包機	Xana-2720EU (トーショー)	1	
〔事務局〕 病院情報システム	医事会計システム HAPPY CSIII (東芝) オーダーリングシステム ARTERIA オーダー・ インフォメーションシステム (東芝) 他	1 1	

※購入金額 500 万円以上

## 3. 職員宿舎

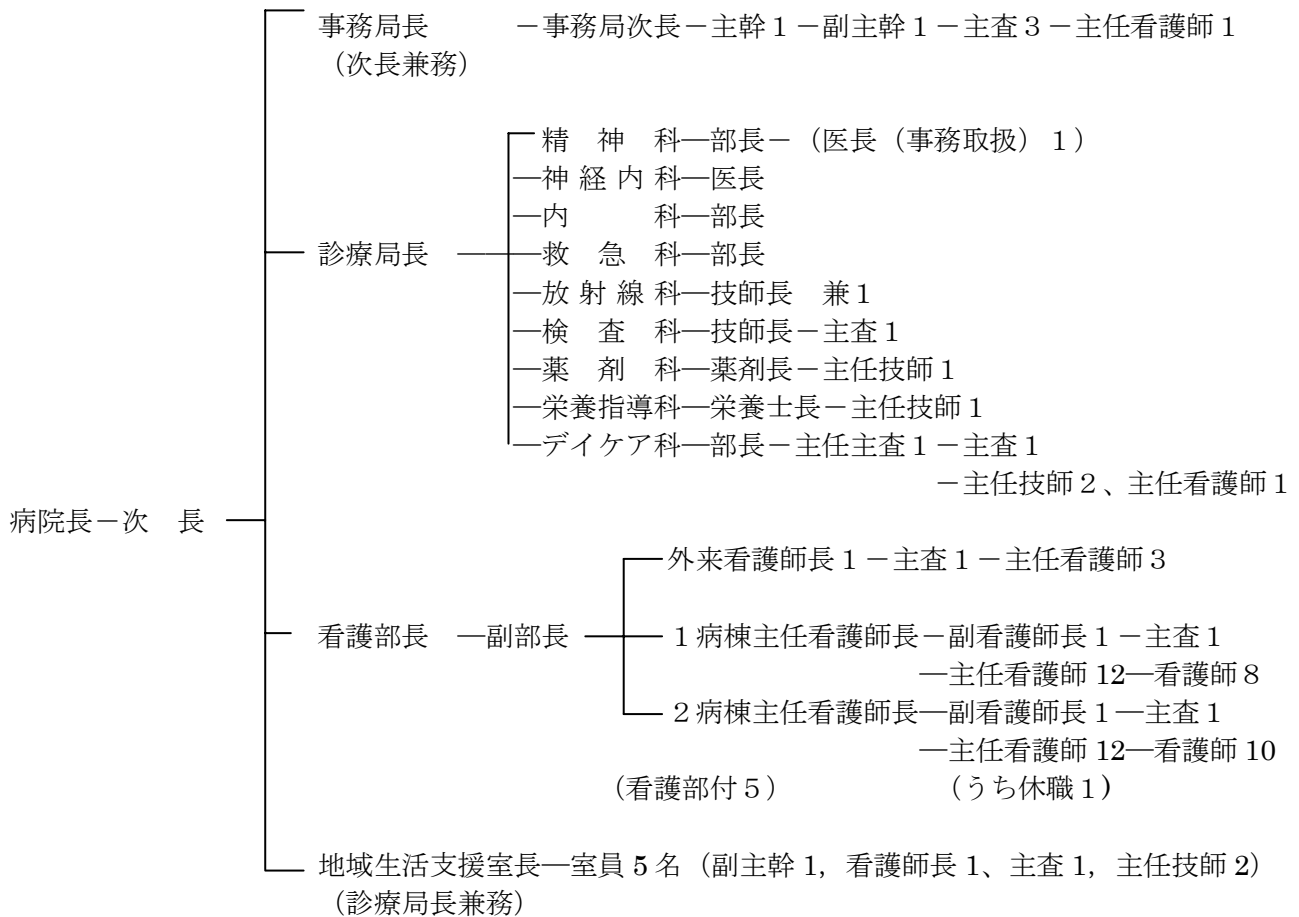
	看護職員宿舎	草津職員宿舎
所在地	草津市笠山 8 丁目 4 - 91	草津市東矢倉 3 丁目 39 -
構造	RC 造 3 階建	40
建築面積	282.73 m <sup>2</sup>	RC 造 3 階建
延べ面積	795.71 m <sup>2</sup>	300.16 m <sup>2</sup>
戸数	28 戸	900.48 m <sup>2</sup>
タイプ	1K	12 戸
一戸当たりの占有面積 (ベランダを除く)	25.55 m <sup>2</sup>	3 DK 68.58 m <sup>2</sup> (6 戸)
付属建物	自転車置場・機械室	68.72 m <sup>2</sup> (6 戸) 自転車置場・物置

## 2.組織

### 1.組織および現員

(平成 22 年 3 月 31 日現在)

現員 92 名



### 2. 職種別職員数

職種	医師	看護師	保健師	薬剤師	放射線技師	臨床検査技師	管理栄養士	作業療法士	判定員	ケースワーカー	事務	合計
定数	11	63	1	2	2	2	2	3	2	1	7	96
現員	7	64	1	2	1	2	2	3	2	1	7	92
内訳	精神病院	6	62	1	2	1	2	2	1	1	7	86
	精神科 デイ・ケア	1	2					2	1			6

### 3. 経 営

#### 1. 平成21年度決算状況

##### (1) 収益的収入および支出

###### ①事業収入に関する事項

項	目	収入金額 (円)	構成比	
医 業 収 益		883,289,447	100.0%	60.6%
	入 院 収 益	438,761,409	49.7%	30.1%
	外 来 収 益	177,800,706	20.1%	12.2%
	そ の 他 医 業 収 益	266,727,332	30.2%	18.3%
医 業 外 収 益		574,484,266	100.0%	39.4%
	受 取 利 息 配 当 金	9,544,622	1.7%	0.7%
	補 助 金			
	負 担 金 交 付 金	560,069,712	97.5%	38.4%
	そ の 他 医 業 外 収 益	4,869,932	0.8%	0.3%
合 計		1,457,773,713		100.0%

###### ②事業費に関する事項

項	目	支出金額 (円)	構成比	
医 業 費 用		1,318,145,376	100.0%	92.8%
	給 与 費	902,148,438	68.4%	63.5%
	材 料 費	98,411,656	7.5%	6.9%
	経 費	204,151,759	15.5%	14.4%
	減 価 償 却 費	94,065,981	7.1%	6.7%
	資 産 減 耗 費	600,298	0.1%	0.0%
	研 究 研 修 費	5,273,515	0.4%	0.4%
	本 部 費 負 担 金	13,493,729	1.0%	0.9%
医 業 外 費 用		87,199,181	100.0%	6.2%
	支払利息および企業債取扱諸費	69,732,717	80.0%	4.9%
	繰 延 勘 定 償 却	2,185,690	2.5%	0.2%
	雑 損 失	15,280,774	17.5%	1.1%
特 別 損 失		15,197,419	100.0%	1.0%
	過 年 度 損 益 修 正 損	15,197,419	100.0%	1.0%
合 計		1,420,541,976		100.0%

## (2) 資本的収入および支出

## ①資本的収入

項	目	収入金額 (円)	構成比
企業債	企業債	291,900,000	90.1%
補助金	補助金		
負担金	負担金	32,073,000	9.9%
諸収入	諸収入		
合	計	323,973,000	100.0%

## ②資本的支出

項	目	支出金額 (円)	構成比
建設改良費	建物費		
	工事費		
	有形固定資産	11,674,610	2.9%
	無形固定資産		
企業債償還金	企業債償還金	394,765,095	97.1%
投資	投資金		
合	計	406,439,705	100.0%

## (3) 診療科別患者数および収益調

単位 (人・円)

区分		外来	入院	計
精神科	患者数	18,002	28,501	46,503
	収益額	125,626,630	438,761,409	564,388,039
内科	患者数	1,323		1,323
	収益額	14,866,921		14,866,921
計	患者延数	19,325	28,501	47,826
	収益額	140,493,551	438,761,409	579,254,960
	患者1人収益	7,270	15,395	12,112
デイケア	患者数	5,296		5,296
	収益額	37,309,370		37,309,370

## (4) 損益計算書 (平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)

(単位 円)

1 医業収益			
(1) 入院収益	438,761,409		
(2) 外来収益	177,800,706		
(3) その他医業収益	<u>266,727,332</u>	883,289,447	
2 医業費用			
(1) 給与費	902,148,438		
(2) 材料費	98,411,656		
(3) 経費	204,151,759		
(4) 減価償却費	94,065,981		
(5) 資産減耗費	600,298		
(6) 研究研修費	5,273,515		
(7) 本部費負担金	<u>13,493,729</u>	<u>1,318,145,376</u>	
医業損失			434,855,929
3 医業外収益			
(1) 受取利息配当金	9,544,622		
(2) 補助金	0		
(3) 負担金交付金	560,069,712		
(4) 患者外給食収益	0		
(5) その他医業外収益	<u>4,869,932</u>	574,484,266	
4 医業外費用			
(1) 支払利息及び企業 債取扱諸費	69,732,717		
(2) 繰延勘定償却	2,185,690		
(3) 患者外給食材料費	0		
(4) 雑損失	<u>15,280,774</u>	<u>87,199,181</u>	<u>487,285,085</u>
経常利益			52,429,156
5 特別損失			
(1) 過年度損益修正損	<u>15,197,419</u>	<u>15,197,419</u>	<u>15,197,419</u>
当年度純利益			37,231,737
前年度繰越欠損金			<u>172,691,606</u>
当年度未処理欠損金			<u><u>135,459,869</u></u>



(5) 貸借対照表(平成22年3月31日)

(単位 円)

				資 産 の 部			
1	固 定 資 産	形 固 定 資 産	産 地 物 類 具 備 品 額 計				
(1)	①	土 建 減 構 減 車 減 工 減 建 有 施 電 無 投 投 固 流 現 未 貯 前 そ 流 繰 控 繰 資	① 土 建 減 構 減 車 減 工 減 建 有 施 電 無 投 投 固 流 現 未 貯 前 そ 流 繰 控 繰 資	1,010,977,990	1,010,977,990		
	②			4,021,724,563			
	③	価 償 却 累 計	物 類 具 備 品 額 計	2,051,674,006	1,970,050,557		
	④	価 償 却 累 計	物 類 具 備 品 額 計	415,528,294			
	⑤	価 償 却 累 計	物 類 具 備 品 額 計	244,150,237	171,378,057		
	⑥	価 償 却 累 計	物 類 具 備 品 額 計	1,318,409			
	⑦	価 償 却 累 計	物 類 具 備 品 額 計	1,095,608	222,801		
	⑧	価 償 却 累 計	物 類 具 備 品 額 計	549,459,662			
	⑨	価 償 却 累 計	物 類 具 備 品 額 計	411,940,365	137,519,297		
	⑩	価 償 却 累 計	物 類 具 備 品 額 計		0		
(2)	①	形 固 定 資 産	合 計			3,290,148,702	
	②	形 固 定 資 産	合 計				
	③	形 固 定 資 産	合 計				
(3)	①	資 有 価 証	券 計	1,364,000			
	②	資 有 価 証	券 計				
	③	資 有 価 証	券 計				
	④	資 有 価 証	券 計				
	⑤	資 有 価 証	券 計				
	⑥	資 有 価 証	券 計				
	⑦	資 有 価 証	券 計				
	⑧	資 有 価 証	券 計				
	⑨	資 有 価 証	券 計				
	⑩	資 有 価 証	券 計				
	⑪	資 有 価 証	券 計				
	⑫	資 有 価 証	券 計				
	⑬	資 有 価 証	券 計				
	⑭	資 有 価 証	券 計				
	⑮	資 有 価 証	券 計				
	⑯	資 有 価 証	券 計				
	⑰	資 有 価 証	券 計				
	⑱	資 有 価 証	券 計				
	⑲	資 有 価 証	券 計				
	⑳	資 有 価 証	券 計				
	㉑	資 有 価 証	券 計				
	㉒	資 有 価 証	券 計				
	㉓	資 有 価 証	券 計				
	㉔	資 有 価 証	券 計				
	㉕	資 有 価 証	券 計				
	㉖	資 有 価 証	券 計				
	㉗	資 有 価 証	券 計				
	㉘	資 有 価 証	券 計				
	㉙	資 有 価 証	券 計				
	㉚	資 有 価 証	券 計				
	㉛	資 有 価 証	券 計				
	㉜	資 有 価 証	券 計				
	㉝	資 有 価 証	券 計				
	㉞	資 有 価 証	券 計				
	㉟	資 有 価 証	券 計				
	㊱	資 有 価 証	券 計				
	㊲	資 有 価 証	券 計				
	㊳	資 有 価 証	券 計				
	㊴	資 有 価 証	券 計				
	㊵	資 有 価 証	券 計				
	㊶	資 有 価 証	券 計				
	㊷	資 有 価 証	券 計				
	㊸	資 有 価 証	券 計				
	㊹	資 有 価 証	券 計				
	㊺	資 有 価 証	券 計				
	㊻	資 有 価 証	券 計				
	㊼	資 有 価 証	券 計				
	㊽	資 有 価 証	券 計				
	㊾	資 有 価 証	券 計				
	㊿	資 有 価 証	券 計				
	㉀	資 有 価 証	券 計				
	㉁	資 有 価 証	券 計				
	㉂	資 有 価 証	券 計				
	㉃	資 有 価 証	券 計				
	㉄	資 有 価 証	券 計				
	㉅	資 有 価 証	券 計				
	㉆	資 有 価 証	券 計				
	㉇	資 有 価 証	券 計				
	㉈	資 有 価 証	券 計				
	㉉	資 有 価 証	券 計				
	㊰	資 有 価 証	券 計				
	㊱	資 有 価 証	券 計				
	㊲	資 有 価 証	券 計				
	㊳	資 有 価 証	券 計				
	㊴	資 有 価 証	券 計				
	㊵	資 有 価 証	券 計				
	㊶	資 有 価 証	券 計				
	㊷	資 有 価 証	券 計				
	㊸	資 有 価 証	券 計				
	㊹	資 有 価 証	券 計				
	㊺	資 有 価 証	券 計				
	㊻	資 有 価 証	券 計				
	㊼	資 有 価 証	券 計				
	㊽	資 有 価 証	券 計				
	㊾	資 有 価 証	券 計				
	㊿	資 有 価 証	券 計				
	㉀	資 有 価 証	券 計				
	㉁	資 有 価 証	券 計				
	㉂	資 有 価 証	券 計				
	㉃	資 有 価 証	券 計				
	㉄	資 有 価 証	券 計				
	㉅	資 有 価 証	券 計				
	㉆	資 有 価 証	券 計				
	㉇	資 有 価 証	券 計				
	㉈	資 有 価 証	券 計				
	㉉	資 有 価 証	券 計				
	㊰	資 有 価 証	券 計				
	㊱	資 有 価 証	券 計				
	㊲	資 有 価 証	券 計				
	㊳	資 有 価 証	券 計				
	㊴	資 有 価 証	券 計				
	㊵	資 有 価 証	券 計				
	㊶	資 有 価 証	券 計				
	㊷	資 有 価 証	券 計				
	㊸	資 有 価 証	券 計				
	㊹	資 有 価 証	券 計				
	㊺	資 有 価 証	券 計				
	㊻	資 有 価 証	券 計				
	㊼	資 有 価 証	券 計				
	㊽	資 有 価 証	券 計				
	㊾	資 有 価 証	券 計				
	㊿	資 有 価 証	券 計				
	㉀	資 有 価 証	券 計				
	㉁	資 有 価 証	券 計				
	㉂	資 有 価 証	券 計				
	㉃	資 有 価 証	券 計				
	㉄	資 有 価 証	券 計				
	㉅	資 有 価 証	券 計				
	㉆	資 有 価 証	券 計				
	㉇	資 有 価 証	券 計				
	㉈	資 有 価 証	券 計				
	㉉	資 有 価 証	券 計				
	㊰	資 有 価 証	券 計				
	㊱	資 有 価 証	券 計				
	㊲	資 有 価 証	券 計				
	㊳	資 有 価 証	券 計				
	㊴	資 有 価 証	券 計				
	㊵	資 有 価 証	券 計				
	㊶	資 有 価 証	券 計				
	㊷	資 有 価 証	券 計				
	㊸	資 有 価 証	券 計				
	㊹	資 有 価 証	券 計				
	㊺	資 有 価 証	券 計				
	㊻	資 有 価 証	券 計				
	㊼	資 有 価 証	券 計				
	㊽	資 有 価 証	券 計				
	㊾	資 有 価 証	券 計				
	㊿	資 有 価 証	券 計				
	㉀	資 有 価 証	券 計				
	㉁	資 有 価 証	券 計				
	㉂	資 有 価 証	券 計				
	㉃	資 有 価 証	券 計				
	㉄	資 有 価 証	券 計				
	㉅	資 有 価 証	券 計				
	㉆	資 有 価 証	券 計				
	㉇	資 有 価 証	券 計				
	㉈	資 有 価 証	券 計				
	㉉	資 有 価 証	券 計				
	㊰	資 有 価 証	券 計				
	㊱	資 有 価 証	券 計				
	㊲	資 有 価 証	券 計				
	㊳	資 有 価 証	券 計				
	㊴	資 有 価 証	券 計				
	㊵	資 有 価 証	券 計				
	㊶	資 有 価 証	券 計				
	㊷	資 有 価 証	券 計				
	㊸	資 有 価 証	券 計				
	㊹	資 有 価 証	券 計				
	㊺	資 有 価 証	券 計				
	㊻	資 有 価 証	券 計				
	㊼	資 有 価 証	券 計				
	㊽	資 有 価 証	券 計				
	㊾	資 有 価 証	券 計				
	㊿	資 有 価 証	券 計				
	㉀	資 有 価 証	券 計				
	㉁	資 有 価 証	券 計				
	㉂	資 有 価 証	券 計				
	㉃	資 有 価 証	券 計				
	㉄	資 有 価 証	券 計				
	㉅	資 有 価 証	券 計				
	㉆	資 有 価 証	券 計				
	㉇	資 有 価 証	券 計				
	㉈	資 有 価 証	券 計				
	㉉	資 有 価 証	券 計				
	㊰	資 有 価 証	券 計				
	㊱	資 有 価 証	券 計				
	㊲	資 有 価 証	券 計				
	㊳	資 有 価 証	券 計				
	㊴	資 有 価 証	券 計				
	㊵	資 有 価 証	券 計				
	㊶	資 有 価 証	券 計				
	㊷	資 有 価 証	券 計				
	㊸	資 有 価 証	券 計				
	㊹	資 有 価 証	券 計				

## II. 診 療 部 門

## 概 要

### 1. 外来診療

精神科外来診療は、予約制を原則とし、精神科一般外来を月曜日から金曜日まで2診ないし4診開き、特殊外来はアルコール専門外来（水曜日、金曜日）、思春期外来（火曜日、木曜日）を設置し、それぞれ2診で対応している。

また、行政や警察、消防からの緊急診療の依頼や時間外受診患者には、救急外来当番を設置し、迅速に対応できるように配慮している。

内科外来診療は1診で月曜から金曜に行い、精神科受診患者の内科診療を行っている。

また、外来には検査機器として、MR装置、CT装置、内視鏡機器、超音波装置などを有し、器質性精神障害や中毒性精神障害、内科的合併症等の患者の診断治療にも対処できる体制が整備されている。

### 2. 入院診療

入院診療における状況は、病棟数は2、病床数は100で、内訳は以下のとおりである。

1階第1病棟（50床）は、統合失調症、躁うつ病等の治療をはじめ、アルコール依存症リハビリテーションプログラムを中心とした治療や長期入院精神障害者の退院促進プログラムを行っている。

2階第2病棟（50床）は、精神科急性期治療病棟入院料2の施設基準を年度途中に取得し、急性期精神障害者の入院治療を中心に、摂食障害等の思春期精神障害者の治療を行っている。

### 3. その他

(1) 病床管理委員会を第3月曜日に、診療局会議を隔月に開催し、現在の患者利用状況の把握、診療場面での各職種間での連携の確認を行っている。

(2) 県内での措置入院にかかる診察には、精神科医師を積極的に派遣し、滋賀県の精神保健業務が円滑に遂行できるように協力している。

(3) 医師臨床研修協力病院として今年度は、県立成人病センターから2名、大津市民病院から5名の研修医を受け入れ、外来および入院診療の指導を行った。

## 1. 外来診療状況

### 1. 月別外来患者数

外来患者延数は 19,325 人、外来診察日数は 242 日で 1 日平均外来患者数は 79.9 人となり、年度当初での医師の退職もあり、外来患者延数・1 日平均外来患者数ともに減少し、平成 20 年度比 86.2%となった。

科別内訳では、精神科 18,002 人 (93.2%)・内科 1,323 人 (6.8%) で、うち初診患者数を見ると、精神科 526 人 (82.3%)・内科 113 人 (17.7%) となっている。

### 2. 保健所別実診療人数および市町村外来実患者数

保健所別実診療人数を見ると、地元の草津保健所 4,842 人 (34.6%) と大津市保健所 3,627 人 (25.9%) とで約 60%を占めており、次に東近江保健所 2,071 人 (14.8%)、甲賀保健所 1,741 人 (12.5%) の順となっている。

市町村別外来実患者数では、大津市が 3,627 人 (25.9%)、次いで草津市 2,361 人 (16.9%)、栗東市 1,069 人 (7.6%)、甲賀市 1,057 人 (7.6%) の順となっている。

### 3. 疾患別実人数

精神科の疾患別実人数を見ると、統合失調症、統合失調症型障害および妄想性障害が 3,868 人 (27.7%) と最も多く、気分 (感情) 障害 3,335 人 (23.9%)、神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害 2,338 人 (16.7%)、アルコール使用による障害 2,120 人 (15.2%) の順となっている。

### 4. 年齢別実人数

年齢別実人数を見ると、30～39 歳が 3,389 人 (24.2%)、50～64 歳が 3,201 人 (22.9%)、40～49 歳が 2,943 人 (21.1%) の順となっている。

### 5. 男女別実人数

男女別実人数を見ると、男性 7,546 人 (54.0%)、女性 6,433 人 (46.0%) と男性が多くなっている。

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	構成比	
(外来診療日数)		(21)	(18)	(22)	(22)	(21)	(19)	(21)	(19)	(19)	(19)	(19)	(22)	(242)		
外来患者延べ数	精神科	1,588	1,390	1,532	1,638	1,449	1,585	1,526	1,411	1,435	1,448	1,353	1,647	18,002	93.2%	
	内科	139	126	137	93	117	106	91	92	102	103	101	116	1,323	6.8%	
	計	1,727	1,516	1,669	1,731	1,566	1,691	1,617	1,503	1,537	1,551	1,454	1,763	19,325	100%	
うち初診患者数	精神科	36	40	49	58	46	52	33	43	38	44	43	44	526	82.3%	
	内科	11	7	10	8	5	7	11	11	8	7	8	20	113	17.7%	
	計	47	47	59	66	51	59	44	54	46	51	51	64	639	100%	
初来院患者数	精神科	33	39	48	53	38	51	32	37	39	35	40	38	483	89.3%	
	内科	8	2	6	2	3	6	4	3	6	3	5	10	58	10.7%	
	計	41	41	54	55	41	57	36	40	45	38	45	48	541	100%	
1日平均外来患者数	精神科	75.6	77.2	69.6	74.5	69.0	83.4	72.7	74.3	75.5	76.2	71.2	74.9	74.4	93.1%	
	内科	6.6	7.0	6.2	4.2	5.6	5.6	4.3	4.8	5.4	5.4	5.3	5.3	5.5	6.9%	
	計	82.2	84.2	75.9	78.7	74.6	89.0	77.0	79.1	80.9	81.6	76.5	80.1	79.9	100%	
保健所別診療実人数	大津市保健所	320	285	316	321	300	306	308	290	301	295	271	314	3,627	25.9%	
	草津保健所	385	386	426	428	409	408	406	403	407	419	368	397	4,842	34.6%	
	甲賀保健所	156	134	146	148	155	150	139	151	136	148	136	142	1,741	12.5%	
	東近江保健所	164	176	173	186	166	181	163	170	179	177	162	174	2,071	14.8%	
	彦根保健所	46	52	48	50	52	52	50	50	56	55	52	55	618	4.4%	
	長浜保健所	33	33	35	34	38	34	37	30	37	32	39	42	424	3.0%	
	高島保健所	18	22	17	24	21	27	24	21	25	23	21	22	265	1.9%	
	県外	38	29	38	37	30	33	36	34	23	35	31	27	391	2.8%	
	計	1,160	1,117	1,199	1,228	1,171	1,191	1,163	1,149	1,164	1,184	1,080	1,173	13,979	100%	
疾患別実人数	F0	アルツハイマー型認知症	2	1	1	2	2	2	2	1	1	2	1	1	18	0.1%
		血管性認知症	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0.0%
		その他器質性精神障害	15	12	14	17	14	17	11	13	14	13	12	12	164	1.2%
	F1	アルコール使用による障害	169	176	165	177	173	168	177	177	182	186	179	191	2,120	15.2%
		覚せい剤使用による障害	3	1	4	3	2	2	0	1	0	1	2	2	21	0.2%
		その他精神作用物質使用による障害	8	11	10	10	11	8	7	10	12	16	11	14	128	0.9%
	F2	統合失調症、統合失調症型障害および妄想性障害	324	306	336	345	323	346	327	317	319	326	288	311	3,868	27.7%
	F3	気分(感情)障害	288	267	275	294	281	283	280	276	269	289	250	283	3,335	23.9%
	F4	神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害	202	183	210	215	195	202	191	183	196	196	182	183	2,338	16.7%
	F5	生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群	12	19	22	20	23	18	18	21	21	22	23	22	241	1.7%
	F6	成人の人格および行動の障害	9	9	10	12	11	9	11	19	11	11	14	12	138	1.0%
	F7	精神遅滞	18	12	18	18	17	16	16	20	16	14	11	15	191	1.4%
	F8	心理的発達の障害	17	24	20	21	22	20	26	25	24	22	20	23	264	1.9%
	F9	小児期および青年期に通常発症する行動および情緒の障害	0	0	2	1	1	2	0	0	1	0	1	2	10	0.1%
	G4	てんかん	3	3	2	3	1	3	1	4	3	3	3	1	30	0.2%
	その他の神経系疾患	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	
	内科・検査患者等	90	93	110	90	95	95	95	82	95	83	83	101	1,112	8.0%	
	計	1,160	1,117	1,199	1,228	1,171	1,191	1,163	1,149	1,164	1,184	1,080	1,173	13,979	100%	
年齢別実人数	20歳未満	21	36	31	31	24	27	29	27	29	31	23	30	339	2.4%	
	20歳～29歳	170	160	192	184	186	187	193	181	178	168	171	171	2,141	15.3%	
	30歳～39歳	281	273	295	297	278	295	283	284	285	281	256	281	3,389	24.2%	
	40歳～49歳	239	239	240	252	246	242	251	244	242	266	233	249	2,943	21.1%	
	50歳～64歳	267	254	275	286	258	275	249	262	265	277	257	276	3,201	22.9%	
	65歳～74歳	131	109	115	125	131	113	112	105	114	114	100	116	1,385	9.9%	
	75歳以上	51	46	51	53	48	52	46	46	51	47	40	50	581	4.2%	
	計	1,160	1,117	1,199	1,228	1,171	1,191	1,163	1,149	1,164	1,184	1,080	1,173	13,979	100%	
男女別診療実人数	男	620	606	654	645	620	636	642	618	633	645	596	631	7,546	54.0%	
	女	540	511	545	583	551	555	521	531	531	539	484	542	6,433	46.0%	
	計	1,160	1,117	1,199	1,228	1,171	1,191	1,163	1,149	1,164	1,184	1,080	1,173	13,979	100%	

別表1 平成21年度市町村別外来実患者数

市町名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	府県名 地方名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
大津市	320	285	316	321	300	306	308	290	301	295	271	314	3,627	京都府	21	21	23	22	18	16	20	18	14	21	20	15	229
草津市	193	185	211	204	202	192	195	199	203	207	175	195	2,361	大阪府	7	2	10	7	6	8	7	4	4	6	4	5	70
守山市	64	70	70	72	70	63	65	65	62	70	61	63	795	奈良県	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	1	1	5
栗東市	90	82	91	97	87	96	88	88	87	87	86	90	1,069	和歌山県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
野洲市	38	49	54	55	50	57	58	51	55	55	46	49	617	兵庫県	0	2	0	0	2	1	2	3	2	2	2	2	18
甲賀市	96	79	90	90	101	88	82	90	81	94	79	87	1,057	北海道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
湖南省	60	55	56	58	54	62	57	61	55	54	57	55	684	東北地方	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東近江市	73	76	80	78	76	84	75	83	77	74	76	74	926	関東地方	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
近江八幡市	57	63	57	68	58	61	54	51	65	64	50	59	707	中部地方	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
安土町	6	11	7	7	6	11	9	7	8	7	9	10	98	中国地方	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
日野町	11	10	11	14	9	11	8	12	12	15	13	16	142	四国地方	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
竜王町	17	16	18	19	17	14	17	17	17	17	14	15	198	九州地方	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
彦根市	32	34	28	34	31	32	32	31	33	35	36	36	394	その他不明	10	4	4	8	4	8	6	8	3	6	4	4	69
愛荘町	9	13	12	9	12	12	11	12	13	12	9	13	137	合計	1,160	1,117	1,199	1,228	1,171	1,191	1,163	1,149	1,164	1,184	1,080	1,173	13,979
豊郷町	0	1	1	1	2	1	1	1	1	1	0	1	11														
甲良町	1	0	1	1	1	2	1	1	1	1	0	0	10														
多賀町	4	4	6	5	6	5	5	5	8	6	7	5	66														
米原市	7	5	7	5	8	9	8	6	6	7	7	8	83														
長浜市	17	18	18	19	19	15	15	16	19	17	21	27	221														
虎姫町	1	0	1	2	2	0	1	0	1	0	0	0	8														
湖北町	2	3	3	2	3	3	4	4	4	4	4	3	39														
高月町	2	2	2	1	2	3	3	2	2	2	2	2	25														
木之本町	3	3	2	3	2	2	3	0	3	1	3	0	25														
余呉町	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	11														
西浅井町	1	1	1	1	1	1	2	1	1	0	1	1	12														
高島市	18	22	17	24	21	27	24	21	25	23	21	22	265														

## 2. 入院診療状況

### 1. 月別入退院患者数および1日平均在院患者数

入院件数は280件で、平成20年度より6件増加し、延べ入院患者数は28,501人で、501人(101.8%)増加した。

男女別入院件数は、男性134人(47.9%)、女性146人(52.1%)で女性が若干多くなっている。

1日平均在院患者数は、78.1人となり、前年の76.5人を上回った。

### 2. 保健所別および市町村別入院件数

保健所別入院件数を見ると、地元の草津保健所99人(35.4%)と大津市保健所71人(25.4%)とで過半数を占めており、次に東近江保健所33人(11.8%)、続いて甲賀保健所22人(7.9%)の順となっている。県外者は9人(3.2%)となっている。

市町村別入院件数では、大津市が71人(25.4%)、次いで草津市44人(15.7%)、続いて栗東市21人(7.5%)、守山市20人(7.1%)、彦根市17人(6.1%)、東近江市16人(5.7%)の順となっている。

### 3. 疾患別入院件数

疾患別入院件数を見ると、気分(感情)障害84人(30.0%)と最も多く、統合失調症、統合失調症型障害および妄想性障害が81人(28.9%)、アルコール使用による障害67人(23.9%)の3疾患で80%以上を占めている。

### 4. 年齢別件数

年齢別件数を見ると、50~64歳が78人(27.9%)と最も多く、30~39歳が63人(22.5%)、40~49歳が57人(20.4%)の順となっている。

### 5. 入院形態別件数

入院形態別件数を見ると、任意入院が190人(67.9%)、医療保護入院が74人(26.4%)、措置入院が13人(4.6%)、鑑定入院が3人(1.1%)となっている。

### 6. 平均在院日数および退院件数

平均在院日数は102.5日で平成20年度の102.2日とほぼ同日数となっている。

退院数は276件、入院数は280件とほぼ同数で、平成20年度入退院数274件(同数)とほとんど変化はない。

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	構成比
入院件数	男	7	17	13	9	13	12	7	14	9	9	8	16	134	47.9%
	女	14	10	10	17	18	12	6	13	13	10	12	11	146	52.1%
	計	21	27	23	26	31	24	13	27	22	19	20	27	280	100.0%
入院患者延べ数		2,256	2,323	2,343	2,291	2,481	2,496	2,386	2,275	2,487	2,411	2,249	2,503	28,501	
1日平均在院患者数		75.2	74.9	78.1	73.9	80.0	83.2	77.0	75.8	80.2	77.8	80.3	80.7	78.1	
保健所別入院件数	大津市保健所	4	6	6	9	6	5	2	7	10	5	6	5	71	25.4%
	草津保健所	12	10	9	12	8	5	6	12	4	6	6	9	99	35.4%
	甲賀保健所	1	4	0	2	3	4	0	2	1	1	3	1	22	7.9%
	東近江保健所	0	2	3	3	7	5	3	2	2	1	2	3	33	11.8%
	彦根保健所	0	1	0	0	4	0	1	3	3	1	2	6	21	7.5%
	長浜保健所	1	2	1	0	1	2	0	1	1	2	1	1	13	4.6%
	高島保健所	1	1	3	0	1	2	0	0	1	2	0	1	12	4.3%
	県外	2	1	1	0	1	1	1	0	0	1	0	1	9	3.2%
計		21	27	23	26	31	24	13	27	22	19	20	27	280	100%
疾患別実人数	F0 アルツハイマー型痴呆	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	F0 血管性痴呆	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	F0 その他器質性精神障害	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	4	1.4%
	F1 アルコール使用による障害	1	6	8	7	7	3	3	9	5	4	4	10	67	23.9%
	F1 覚せい剤使用による障害	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0.4%
	F1 その他精神作用物質使用による障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	3	1.1%
	F2 統合失調症、統合失調症型障害および妄想性障害	3	9	7	9	10	11	5	8	5	4	5	5	81	28.9%
	F3 気分(感情)障害	11	8	6	7	11	3	4	8	7	8	6	5	84	30.0%
	F4 神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害	4	3	1	2	0	2	0	0	2	2	1	0	17	6.1%
	F5 生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群	1	0	1	1	3	2	0	1	1	0	2	3	15	5.4%
	F6 成人の人格および行動の障害	1	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	4	1.4%
	F7 精神遅滞	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0.4%
	F8 心理的発達の障害	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	3	1.1%
	F9 小児期および青年期に通常発症する行動および情緒の障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
G4 てんかん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	
計		21	27	23	26	31	24	13	27	22	19	20	27	280	100%
年齢別件数	20歳未満	1	0	0	1	0	4	0	3	1	0	0	2	12	4.3%
	20歳～29歳	5	3	4	3	3	6	3	2	6	2	2	4	43	15.4%
	30歳～39歳	4	5	4	7	6	6	3	5	1	8	9	5	63	22.5%
	40歳～49歳	6	5	6	4	5	5	2	7	4	3	5	5	57	20.4%
	50歳～64歳	3	10	6	9	14	3	4	8	6	3	4	8	78	27.9%
	65歳～74歳	2	4	2	2	3	0	1	2	4	3	0	3	26	9.3%
	75歳以上	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.4%
計		21	27	23	26	31	24	13	27	22	19	20	27	280	100%
入院形態別	任意入院	16	19	20	14	23	15	8	16	12	11	16	20	190	67.9%
	医療保護入院(1)	2	6	2	6	3	4	4	9	8	5	2	3	54	19.3%
	医療保護入院(2)	2	1	1	5	2	4	0	0	1	2	1	1	20	7.1%
	措置入院	1	1	0	1	2	1	1	1	0	1	1	3	13	4.6%
	応急入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	鑑定入院	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	3	1.1%
計		21	27	23	26	31	24	13	27	22	19	20	27	280	100%
費用負担別	精神保健福祉法	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1	4	1.4%
	医療観察法	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	3	1.1%
	生活保護法	1	5	5	3	2	1	1	4	0	3	2	3	30	10.7%
	児童福祉法	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	社会保険 社保	9	11	7	12	14	12	6	11	9	2	7	13	113	40.4%
	社会保険 国保	10	10	10	11	13	11	6	11	12	13	11	10	128	45.7%
	社会保険 後期高齢者	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.4%
	労災	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.4%
自賠責・私費		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
計		21	27	23	26	31	24	13	27	22	19	20	27	280	100%
病床利用率		75.2	74.9	78.1	73.9	80.0	83.2	77.0	75.8	80.2	77.8	80.3	80.7	78.1	
平均在院日数		104.9	105.6	82.2	84.9	103.4	90.8	149.1	101.1	110.5	123.6	112.5	92.7	102.5	
退院件数		22	17	34	28	17	31	19	18	23	20	20	27	276	
月末在院者数		73	83	72	70	84	77	71	80	79	78	78	78		

※ 病床利用率 =  $\frac{\text{延べ入院患者数}}{\text{許可病床数} \times \text{診療日数}}$

※ 平均在院日数 =  $\frac{\text{延べ入院患者数}}{(\text{入院件数} + \text{退院件数}) / 2}$



別表2 平成21年度市町村別入院件数

市町名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	府県名 地方名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
大津市	4	6	6	9	6	5	2	7	10	5	6	5	71	京都府	1	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	5	
草津市	6	6	4	2	5	3	3	5	0	4	2	4	44	大阪府	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	
守山市	3	2	2	3	2	0	1	1	2	1	2	1	20	奈良県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
栗東市	3	1	1	2	1	1	2	5	2	1	1	1	21	和歌山県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
野洲市	0	1	2	5	0	1	0	1	0	0	1	3	14	兵庫県	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	
甲賀市	1	4	0	1	1	2	0	1	1	1	2	1	15	北海道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
湖南市	0	0	0	1	2	2	0	1	0	0	1	0	7	東北地方	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
東近江市	0	1	1	1	3	3	2	1	1	1	1	1	16	関東地方	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
近江八幡市	0	0	2	2	4	2	1	1	1	0	0	2	15	中部地方	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
日野町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	中国地方	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
安土町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	四国地方	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
竜王町	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	九州地方	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
彦根市	0	1	0	0	4	0	0	3	2	1	2	4	17	その他不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
愛荘町	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2	合計	21	27	23	26	31	24	13	27	22	19	20	27	280	
豊郷町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0															
甲良町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0															
多賀町	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	2															
米原市	0	1	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	4															
長浜市	0	1	0	0	1	0	0	0	1	1	1	1	6															
虎姫町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0															
湖北町	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	2															
高月町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0															
木之本町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0															
余呉町	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1															
西浅井町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0															
高島市	1	1	3	0	1	2	0	0	1	2	0	1	12															

3. 平成21年度救急・緊急受診状況

区 分		前年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
合計	受診者数	202	19	20	21	16	18	14	13	18	13	11	16	11	190
男女別	男	115	4	13	11	3	9	9	9	8	7	7	7	8	95
	女	87	15	7	10	13	9	5	4	10	6	4	9	3	95
時間別	8:30 ~ 17:15	116	13	12	16	13	11	10	10	8	12	7	13	9	134
	17:15 ~ 22:00	44	4	3	1	2	5	1	2	5	1	3	1	2	30
	22:00 ~ 8:30	42	2	5	4	1	2	3	1	5		1	2		26
曜日別	平日	141	15	11	15	10	15	10		15	12	8	14	8	133
	土曜日	38	3	3	2	3	2	2	5	1		2	2	1	26
	日・祭日	23	1	6	4	3	1	2	8	2	1	1		2	31
病別	脳性器質性疾患	4					1				1			1	3
	その他	0					1								1
	精神物質作用	22	3	3	1	1	4	1	2	3	2	1	3	1	25
	覚せい剤中毒	5		2	2	1			2				1		8
	その他の中毒	1		1											1
	統合失調症	68	5	7	9	10	3	6	5	6	3	3	1	3	61
	気分障害	50	2	3	3	3	3	1	3	4	5	4	3	3	37
	神経症圏	28	9	2	2		1	4	1	1			1	2	23
	生理的身体的	1		1	1		2			1		1	2		8
	人格障害	15						1			1		1		3
	精神発達遅滞	5		1	1		1						1		4
	心理的発達遅滞	1			2	1	2			3	1	2	3	1	15
	小児期青年期行動傷害	0													0
てんかん	0													0	
その他	2							1						1	
診察依頼	保健所	9	3	2		1	1			2	1	1	1	2	14
	精神科病院	2	1	1											2
	精神科診療所	8			3		1			1	2		1	2	10
	一般医療機関	10	1	1	2	1	1	2		1					9
	警察	3	1	2		2	2	2	1	1		2	2	1	16
	福祉施設・機関	2			2					1					3
	救急隊	26		4	1		2	1	2	2			2	2	16
	家族	106	9	6	8	4	10	5	8	9	9	4	5	3	80
	本人単独	28	4	4	5	8		4	2	1		2	5	1	36
その他	8					1				1	2			4	
転帰	入院	58	4	9	5	7	10	4	4	8	5	5	5	9	75
	帰宅	142	15	11	16	9	8	10	8	10	8	6	11	2	114
	転医	2							1						1
入院形態	任意	15	1	4	3	1	4			2			3	4	22
	医療保護	35	2	4	2	5	4	3	3	5	5	4	1	2	40
	応急	0													0
	措置	8	1	1		1	2	1	1	1		1	1	3	13

## 4. アルコール医療の現況

当センターでは、平成4年の開設当初から地域のニーズに応えるかたちでアルコール依存症に対する専門医療に取り組んでいる。

まず、外来部門であるが、週2日（水、金）アルコール専門外来日を設けている。

平成21年度の当センターの外来初診患者でアルコール依存症（アルコール乱用も含む）と診断された方は88名であった。（男性64名 女性24名）初診患者数は昨年度（平成20年度は67名）と比べやや増加している。

初診患者の平均年齢は52.8歳（男性56.0歳、女性44.0歳）で、年齢別に見てみると40歳代～60歳代の患者で全体の7割強を占めた。男女別で見ると、男性は約5割強が50歳代～60歳代に集中しているのに対し、女性は30歳代～50歳代で満遍なく分布しており、年代と年齢構成に差が見られた。

この専門外来診療の他、毎週金曜日にアルコール家族プログラム（第1～第3金曜は家族教室。第4金曜は家族ミーティング）を設けている。これはアルコール依存症患者の家族を対象としたプログラムである。アルコール依存症に対する正しい知識と理解を深め、家族自身が今までの生活を振り返り、新しい健康的な生活を送れることを目的としている。

入院部門は、開設時から入院による12週間のアルコールリハビリテーションプログラム（ARP;Alcoholics Rehabilitation Program）を組んでいたが、平成20年度より9週間に入院期間を短縮して実施している。プログラムの運営に当たってはクリニカルパスを用い、疾病教育や認知行動療法、作業療法などを実施している。定期的に病棟全体でカンファレンスを開き、患者の評価と治療目標についてきめ細かく検討している。一方、入院当初から担当看護師を決め、主治医とともに密に患者とその家族に関わっていく個別性も重視している。アルコールに関連した入院治療としてはこのARP入院（任意入院）の他、アルコール離脱せん妄やアルコール精神病などを対象とした治療（主として医療保護入院）及び連続飲酒状態にある患者の解毒・離脱管理を目的とした治療も併せて行っている。平成21年度にARPに入院した患者は計34名（平均年齢は50.4歳）であり男性24名、女性10名であった。このうち9名が中途退院している（平均年齢46.8歳、男性5名、女性4名）。また、アルコール離脱せん妄またはアルコール精神病などで入院した患者は33名（平均年齢は52.9歳）男性28名、女性5名であった。

このほか、当センターのアルコール関連疾患に対する取り組みとして、地域連携の強化にも努めており、平成9年度から彦根健康福祉センター、平成16年度からは長浜健康福祉センターのアルコール相談事業に協力している。当センターの担当医師および保健師が、患者・家族の相談を行っている。

アルコール依存症からの回復には自助グループ（断酒会、AA）への参加が欠かせないが、当センターでも通院患者に参加を強く勧めるとともに、ARP入院患者には自助グループへの参加をプログラムに組み込み、在院中から出席できるような働きかけを行っている。

また、県下の断酒会各支部の記念例会や AA のオープンスピーカーズミーティング等には当センターのスタッフも参加し、地域の自助グループとの交流に努めている。

さらに、当センターにおいても月 1 回、ARP 修了者と外来患者を対象とした自助グループ「さつき会」が開かれている。

アルコール医療には緊密な多職種連携が必要である。そのため当センターでは月に 2 回、第 1、3 火曜日にアルコールスタッフミーティング (ASM) を開き、医師、看護師 (外来、病棟)、心理士、作業療法士、ケースワーカー、保健師および精神保健福祉士がアルコール診療に関する情報、意見交換を行い、おおまかな治療方針の見直しや決定を行っている。

## 5. 思春期医療の現況

近年、多様な価値観のもとに、どのように生きていけばよいのかがわからなくなり、さまよう若者が増えてきた。それとともに、思春期・青年期の心の問題がクローズアップされるようになり、思春期・青年期の精神障害を専門的に扱う病院のニーズが高まってきている。

そうした社会的背景とニーズを踏まえ、当センターでは、開設以来、積極的に思春期医療を行ってきた。

外来部門では、専門外来として、週2回（火・木曜日）思春期外来を開いている。

入院部門では、単に表面的な精神症状の治療だけにとどまらず、「安心して休める場」「理解してもらえる場」「育つ場」ということを基本的な理念としている。保護的なまなざしを持つスタッフが、ひとりひとりの患者さんに対して丁寧な援助を行い、導いている。リハビリ的なアプローチも充実しており、レクリエーション療法、個人・集団生活技能訓練療法、集団精神療法が行われている。

地域生活支援室では、平成13年度より実施している統合失調症圏家族教室と平成15年度より実施している統合失調症圏本人教室を開催し、家族や本人へ積極的に支援を行っている。このような形で各部門がそれぞれに活動しているが、センター全体としては、これらの活動をより有機的・系統的・組織的なものとするために、定期的にPSM（思春期スタッフミーティング）を開催している。これは、

1. 各々のスタッフの情報交換を密にしてセンター全体で思春期問題に取り組む。
2. 様々な病態を示す患者を通して思春期心性を理解・研修し、それを日常の臨床に生かす。
3. 新たな治療的取り組みをセンター全体で考え、実行に移す。

以上3点を目標とし、具体的には、医師・看護師・臨床心理士・作業療法士・精神保健福祉士・保健師が参加している。このような体制を通じて、各部門の連携の強化及び役割分担ができています。

以上、当センターでは、多様化している思春期・青年期の精神障害に対して、様々な部門が互いに連携しながら、チームとしての医療を行っていただける体制を維持している。そして、日々さらなる思春期医療の向上を目指している。

## 6. 内科医療の現況

平成21年度も常勤医1名により内科診療を担当している。

内科では、入院及び精神科外来通院中の患者が持つ内科的疾患の診断、検査、治療を主な業務としている。

当センターを受診する患者の多くは精神疾患を持ち、一般病院への通院や入院が困難な場合が多い。このため、内科疾患に限らず、可能な限り当センターでの診断と治療が出来るように努めている。

しかしながら当センター内科で対応できない方に対しては、滋賀医科大学附属病院、成人病センター、大津赤十字病院などの近隣医療機関に転院をお願いし、当センターでの対応が可能となった時点で再度当センターへ転院していただいている。

また、近隣医療機関からの依頼検査（MRI・CT・脳波）時に放射線科や検査科と協働し、必要な診察や処置を行っている。

今後も内科疾患を初めとする諸疾患を合併する当センターの患者について、近隣医療機関との連携を密にし、診療を行っていく考えである

## 7. 薬剤科

平成 21 年度の院内処方せん枚数は前年より減少し、1 日平均 16.9 枚となっている。

一方、入院処方せんは増加傾向にある。

入院患者への薬剤管理指導数を増やし情報提供の充実をめざしている。

薬剤科業務集計

		処方箋枚数			処方件数			延べ日数			院外処方 箋枚数	薬剤管理 指導件数	請求薬品 件数
		外来	入院	合計	外来	入院	合計	外来	入院	合計			
20 年度	合計	4,760	9,697	14,457	14,155	18,600	32,755	210,383	138,116	348,499	15,489	44	233
	日平均	19.4	39.6	59.0	57.8	75.9	133.7	858.7	563.7	1,422.4	63.2	0.2	
21 年度	合計	4,113	10,607	14,720	11,006	20,874	31,880	179,663	141,808	321,471	13,570	107	233
	日平均	16.9	43.7	60.6	45.3	85.9	131.2	739.4	583.6	1,322.9	55.8	0.4	
4月	合計	391	784	1,175	1,115	1,633	2,748	18,149	12,032	30,181	1,211	6	19
	日平均	18.6	37.3	56.0	53.1	77.8	130.9	864.2	573.0	1,437.2	57.7	0.3	
5月	合計	349	705	1,054	998	1,318	2,316	17,012	7,820	24,832	1,099	4	17
	日平均	17.5	35.3	52.7	49.9	65.9	115.8	850.6	391.0	1,241.6	55.0	0.2	
6月	合計	373	994	1,367	1,017	1,986	3,003	16,382	12,536	28,918	1,118	12	24
	日平均	17.8	47.3	65.1	48.4	94.6	143.0	780.1	597.0	1,377.0	53.2	0.6	
7月	合計	374	867	1,241	1,069	1,709	2,778	17,626	11,328	28,954	1,203	14	19
	日平均	17.0	39.4	56.4	48.6	77.7	126.3	801.2	514.9	1,316.1	54.7	0.6	
8月	合計	317	939	1,256	855	1,856	2,711	13,221	12,082	25,303	1,092	16	18
	日平均	15.1	44.7	59.8	40.7	88.4	129.1	629.6	575.3	1,204.9	52.0	0.8	
9月	合計	342	951	1,293	903	1,801	2,704	14,720	13,154	27,874	1,201	6	32
	日平均	17.1	47.6	64.7	45.2	90.1	135.2	736.0	657.7	1,393.7	60.1	0.3	
10月	合計	330	887	1,217	800	1,683	2,483	13,395	12,702	26,097	1,163	0	24
	日平均	15.0	40.3	55.3	36.4	76.5	112.9	608.9	577.4	1,186.2	52.9	0.0	
11月	合計	312	696	1,008	842	1,299	2,141	12,601	9,686	22,287	1,054	3	15
	日平均	17.3	38.7	56.0	46.8	72.2	118.9	700.1	538.1	1,238.2	58.6	0.2	
12月	合計	316	999	1,315	875	1,946	2,821	14,011	13,972	27,983	1,088	6	22
	日平均	16.6	52.6	69.2	46.1	102.4	148.5	737.4	735.4	1,472.8	57.3	0.3	
1月	合計	306	871	1,177	832	1,751	2,583	13,817	11,403	25,220	1,096	15	11
	日平均	16.1	45.8	61.9	43.8	92.2	135.9	727.2	600.2	1,327.4	57.7	0.8	
2月	合計	336	883	1,219	805	1,816	2,621	13,186	11,894	25,080	998	12	17
	日平均	17.7	46.5	64.2	42.4	95.6	137.9	694.0	626.0	1,320.0	52.5	0.6	
3月	合計	367	1,031	1,398	895	2,076	2,971	15,543	13,199	28,742	1,247	13	15
	日平均	17.5	49.1	66.6	42.6	98.9	141.5	740.1	628.5	1,368.7	59.4	0.6	

## 8. 放射線科

施設内検査だけでなく、開院時の目的であった他病院からの検査依頼も受け入れ、高額医療機器の運用を図っている。常に最高の医療診断画像を提供できるように心掛け、患者さんが早期に十分な医療サービスを受けられるように努力している。

### 一般撮影検査件数

部位／月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	21年度 合計	20年度 合計
頭 部			1										1	3
胸 部	33	24	27	26	32	21	22	24	25	20	25	27	306	385
腹 部	27	28	15	21	22	16	15	15	20	12	22	23	236	279
骨 部	5	1	6	11	7	8	1	3	12	4	14	9	81	65
ポータブル	2	2	4	4	4	5	1	4	1	1	4	8	40	59
合 計	67	55	53	62	65	50	39	46	58	37	65	67	664	791

### C T検査件数

部位／月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	21年度 合計	20年度 合計
頭 部	11	11	3	6	9	14	9	7	11	17	5	10	113	135
脊 椎			1										1	9
胸 部	17	8	8	3	11	6	5	5	12	12	8	7	102	90
腹 部	15	23	18	17	19	18	8	16	28	21	19	14	216	86
合 計	43	42	30	26	39	38	22	28	51	50	32	31	432	320

### MR検査件数

部位／月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	21年度 合計	20年度 合計
頭 部	19	23	39	19	23	22	19	14	14	14	22	15	243	240
脊 椎	7	4	2	6	6	4	1	4	4	6	4	6	54	86
腹 部		1	1		1	2	2		2				9	18
四 肢	2		3	3	1	1	1	1	2	1	4	2	21	8
MRA頭部	33	10	10	5	9	4	1	4	8	2	5	9	100	75
MRA頸部	7	10	8	5	9	4	1	4	4	1	4	8	65	56
合 計	68	48	63	38	49	37	25	27	34	24	39	40	492	483



## 9. 検査科

平成21年度の検査総数は、120,370件であった。前年度と比較すると3.7%の減少率であった。検査別でみると、尿検査と生化学検査その他（外注検査項目）に各々28.7%、19.6%の増加がみられた以外はおおむね減少している。

迅速に結果報告ができるよう、外注していた検査項目（無機リン）を院内実施した。今後も院内実施を計画的に検討していきたい。

### 検査件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
検査総数	10,318	10,075	11,034	10,399	11,160	10,308	8,803	8,205	10,652	9,539	9,041	10,836	120,370
一般検査合計	924	1,065	1,216	1,175	1,394	1,160	976	887	1,042	868	834	942	12,483
尿	919	1,057	1,201	1,154	1,379	1,142	968	884	1,025	859	820	921	12,329
糞便	2	8	14	16	11	14	6	2	14	3	12	18	120
その他	3	0	1	5	4	4	2	1	3	6	2	3	34
血液検査合計	1,867	1,777	1,915	1,806	1,929	1,831	1,543	1,463	1,907	1,726	1,638	1,979	21,381
末梢血一般	1,667	1,537	1,696	1,586	1,636	1,567	1,351	1,264	1,617	1,482	1,414	1,721	18,538
血液像	123	127	150	134	170	141	117	110	166	138	134	156	1,666
その他	77	113	69	86	123	123	75	89	124	106	90	102	1,177
免疫血清検査合計	216	327	293	332	331	268	242	210	354	232	227	280	3,312
梅毒・肝炎ウイルス	79	116	91	121	120	90	79	71	96	64	82	89	1,098
その他	137	211	202	211	211	178	163	139	258	168	145	191	2,214
微生物検査	1	3	1	1	2	1	0	0	0	0	0	3	12
病理検査	0	0	0	1	2	1	0	0	1	1	0	0	6
生化学検査合計	7,260	6,855	7,543	7,029	7,447	6,993	5,987	5,601	7,307	6,660	6,288	7,559	82,529
AUTO	6,493	6,011	6,619	6,171	6,471	6,233	5,336	4,959	6,428	5,894	5,572	6,813	73,000
薬物濃度	109	118	111	117	103	96	107	74	111	114	103	119	1,282
その他	658	726	813	741	873	664	544	568	768	652	613	627	8,247
生理機能検査合計	50	48	66	55	55	54	55	44	41	52	54	73	647
心電図	46	43	58	51	44	45	53	37	36	45	41	67	566
脳波	4	3	6	4	5	7	2	4	5	7	12	6	65
その他	0	2	2	0	6	2	0	3	0	0	1	0	16
環境検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
外注検査(再掲)	544	677	755	699	823	606	482	481	730	569	530	542	7,438

## 10. 栄養指導料

### 1. 栄養管理実施加算の実施

入院患者ごとに、個々の栄養状態、健康状態等に着目した栄養管理の策定を行い、その計画に基づいて栄養管理の実施および評価を行う。さらには栄養状態等の改善、回復につながることを目標に実施する。

### 2. 食事内容の充実

食事は患者の楽しみとしての要素が大きいことから、栄養学的な充足だけでなく、季節ごとの材料や、行事食の取り入れ、選択メニューの実施等できるだけ献立に変化を持たせた食事内容になるよう心がけている。

### 3. 栄養指導の充実

外来、入院患者で、栄養指導の必要な安定期にある患者の栄養指導を、医師の指示に基づき実施し、効果的な指導内容に向け研鑽する。

#### (1) 栄養指導状況

##### ①. 個別指導 (件数)

区 分	外来患者	入院患者	合計
糖 尿 病	25	19	44
摂 食 障 害	37	12	49
脂 質 異 常 症	22	3	25
肥 満 症	26	6	32
肝 障 害	1	28	29
そ の 他	2	1	3
合 計	113	69	182

##### ②. 集団指導

項 目	回数	参加者数 (人)	備 考
退院促進事業 (話と調理実習)	4	28	実施日 7/22、7/29、10/28、11/4

## (2) 給食状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計			
														21年度	20年度		
一般食	常食	4,975	5,014	5,208	5,072	5,342	5,684	5,522	5,382	5,506	5,201	4,886	5,407	63,199	62,625		
	軟食	540	554	479	563	685	469	377	275	570	617	780	768	6,677	8,119		
	流動食	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1	0		
	小計	5,515	5,568	5,687	5,635	6,027	6,153	5,899	5,657	6,076	5,818	5,667	6,175	69,877	70,744		
特別治療食	E	糖尿病	455	416	508	421	434	368	365	399	338	181	94	139	4,118	4,861	
		摂食障害	—	—	—	—	65	55	42	38	135	157	157	175	824		
		脂質異常症	—	49	66	56	165	116	86	65	93	92	83	89	960		
		肥満	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	E-S	その他	49	45	12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	106		
	P	腎臓病	12	—	—	53	65	79	85	49	32	14	—	—	389		
		肝障害	—	—	—	—	1	29	—	23	—	—	—	—	53		
	小計		516	510	586	530	730	647	578	574	598	444	334	403	6,450		
	合計		6,031	6,078	6,273	6,165	6,757	6,800	6,477	6,231	6,674	6,262	6,001	6,578	76,327		75,605
	内 訳	加算食	469	465	574	530	625	592	536	538	463	287	177	228	5,484		4,349
非加算食		5,562	5,613	5,699	5,635	6,132	6,208	5,941	5,693	6,211	5,975	5,824	6,350	70,843	71,256		
デイケア		353	223	460	466	400	318	379	297	312	312	294	264	4,078	3,898		

## 【特別治療食】

E…エネルギーコントロール食 E-S…エネルギー塩分コントロール食 P…たん白コントロール食

## 1 1. デイケア科

デイケア科では、精神科医療機関に通院中で社会復帰・社会参加を目指す人たちに対して、通院医療として「精神科デイケア」（集団活動を中心としたプログラム活動を通じた支援）を実施している。現在の利用者は、20～30才代の比較的若い方が多く、就労等に向けてとりくむいわゆる移行型のデイケアとなっている。

家族支援としては、家族懇談会、家族ミーティングを開催し、学習や交流の場を提供している。

### 1. 精神科デイ・ケアの実施状況について

#### (1) 通所者状況（累積）

##### ①疾病分類

	年 齢	10 代		20 代		30 代		40 代		50 代		計
		性 別	男	女	男	女	男	女	男	女	男	
F0	症状性を含む器質性精神障害			2					1	1		4
F1	精神作用物質使用による精神および行動の障害			1								1
F2	統合失調症・統合失調症型障害および妄想性障害	11	13	125 (3)	74 (3)	50 (2)	27	11	3		2	316 (8)
F3	気分障害		3	12	14	15	8	4	1			57
F4	神経症性障害ストレス関連障害および身体表現性障害	7 (1)	4	23	15	7 (2)	1 (1)	2				59 (4)
F5	生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群		5		5		5					15
F6	成人の人格および行動の障害	2	4	8	12	2			1			29
F7	精神遅滞	1	1	2	3			1				8
F8	心理的発達の障害	1	1	5	3 (1)	2						12 (1)
F9	小児期および青年期に通常発症する行動および情緒の障害											0
G	てんかん			3								3
計		22 (1)	31	181 (3)	126 (4)	76 (4)	41 (1)	18	6	1	2	504 (13)

※平成4年10月～平成22年3月（ ）内は平成21年度登録

## ②住所地域別登録者数

住所地域	累積登録
大津地域	214 (5)
南部地域	153 (7)
甲賀地域	50 (1)
東近江地域	40
湖東地域	28
湖北地域	11
高島地域	4
県 外	4
合 計	504 (13)

## ③紹介病院別登録数

	総合病院	単科病院	クリニック	当センター	計
県内	72	40 (1)	68 (5)	302 (7)	482 (13)
県外	10	9	3		22
合計	82 0	49 (1)	71 (5)	302 (7)	504 (13)

※平成4年10月～平成22年3月 ( )内は、平成21年度登録者数

## (2) 退所者状況

退所者の転帰別人数(平成21年度中の推移:再登録者も含む)

転 帰	人 数
就労	75 (3)
保護的就労	30 (2)
作業所	42 (1)
復職	21 0
進学・復学	24 (1)
家庭内復帰	18 (3)
中断	179 (8)
体験通所のみ	88 (2)
その他	0 0
合 計	477 (20)

## 中断内訳

治療方針変更	88 (7)
悪化	36 0
入院	41 (1)
死亡	2 0
その他	12 0
合計	179 (8)

※平成4年10月～平成22年3月 ( )内は、平成21年度登録者数

(3) 実施状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開催回数 (回)	15	9	18	17	17	15	17	15	16	15	15	15	184
通所者実 人数	44	44	50	46	45	42	43	41	40	41	38	36	—
通所者延数 (人)	382	249	501	491	421	370	409	316	346	332	324	309	4450
半日(外数) (人)	56	34	80	85	89	60	79	103	78	68	53	60	845

(4) プログラム・個別援助の状況

①週間プログラムの実施状況

プログラム名	開催回数 (回)	延参加者数(人)
全体ミーティング	43	1094
音楽療法	41	441
実行委員会	12	69
手工芸	90	1829
絵画	46	361
書道	46	726
卓球	46	475
スポーツ	88	1193
リズム体操	46	702
レクリエーション	46	656
自主活動	45	1167
料理	44	287

## ②週間プログラムの概要

プログラム名	スタッフ数	内容及び活動概要
全体ミーティング	部長 1 職員 5	毎週月曜日の午前、週の始まりを意識づける意味も含め、全通所者とスタッフが集う。部長からの一言や行事や日々の活動に関する伝達・話し合いを行っている。後半の時間は、個別面接または勉強会(心理教育)を実施。
音楽療法	専任講師 1 職員 2	音楽による表現活動を通して、体の感覚や動きに注意を向けて、自分と他者の関係を意識したりすることをめざしている。
実行委員会	職員 2	所内行事(クリスマス会等)の企画・運営を行っている。実行委員会は回を重ねるごとにグループとして機能し、様々な力動が見え隠れするので、集団という構造がより治療的な場となっている。
手工芸	部長 1 職員 5	ものを作る過程を通して、今、自身の持っている力、足りない力、必要な力を具体的な場面で体験し、それを受け入れる場として考えている。作品完成後にはとりくみのプロセスを振り返る機会を設けている。
絵画	専任講師 1 職員 2	講師の指導により、絵画の基本を学習する。とりくみにおいて、情緒的反応の特徴が現れやすく、「今ここ」での体験を受け入れる練習になっている。
書道	専任講師 1 職員 2	書道を通して、学ぶ際に基本となる「教わる」「模倣する」という行動を経験するとともに、表現としての作品制作にもとりくむ。
卓球	職員 2	卓球に関する基本的な知識や技術の習得を活動を通して、お互いの力や自分の力に気づいていく中で、集団において求められる役割やプログラム運営にも積極的に参画できることを目指す。
スポーツ (バレーボール)	専任講師 2 職員 2	ソフトバレーボールの活動を通して、スポーツを楽しむこと、自分の力を知ること、チームワークを土台にして新しいことへのチャレンジや課題を克服する経験につながることを目指している。
スポーツ (ソフトボール)	専任講師 1 部長 1 職員 3	ソフトボールの活動を通して、状況に応じて判断し行動することを意識したり、自分の身体状況を配慮してけがをしないよう取り組んだりすることを目標としている。
リズム体操	専任講師 1 職員 2	リズムカルな音楽にあわせてダンスやストレッチを行い、運動不足の解消と、自分の身体の動きを理解することを目的に取り組み、継続して参加することで少しずつ体力や柔軟性を獲得していくことを目的としている。
レクリエーション	職員 2	時期や季節ごとに活動をメンバー、スタッフとともに決定し、その活動を通して交流を促進し、お互いに援助しあう関係を体験できる場としていく。また活動のプロセスの重要性や活動を進める上でのポイントに気づき、主体性が発揮できるプログラムを目指している。
自主活動	部長 1 職員 5	構造化されたほかのプログラムとは違い、メンバー各自が主体的に過ごせることを目的としている。どのように過ごしても、自らの状態を受け入れ、責任が持てるということが、日々の生活にもつながると考えている。
料理	専任講師 1 職員 2	料理を作る体験を通して、自己の特性や情緒に気付けるプログラムを目指している。①話し合い→②実践という構造になっている。互いの力を分かり、協調して作業する場ともなっている。

### ③特別プログラム

平成 21 年	9 月	県内デイケアスポーツ交流会（サンビレッジ近江八幡）	19 名
		近隣レクリエーション（浜大津方面）	22 名
	12 月	クリスマス会（所内行事）	24 名
平成 22 年	3 月	デイケア社会見学（須磨海浜水族園、マリンピア神戸）	25 名

## 2. 家族援助の状況

### （1）家族懇談会（家族の学習の場として開催）

	年 月	内 容	参加者数
第 1 回	21 年 7 月	～メンバーの特性を具体的に知っていただくために～ ①「医師がお伝えしたいこと」	22 名
第 2 回	9 月	②「作業療法士がお伝えしたいこと」	9 名
第 3 回	11 月	③「看護師がお伝えしたいこと」	9 名
第 4 回	22 年 1 月	④「心理士がお伝えしたいこと」 (①～④の話題提供はデイケアスタッフによる)	14 名
第 5 回	3 月	「就労支援をうけて／就労支援を通して」 講師：地域生活支援センター風 黒木 稔氏 (当センターOB)	27 名

### （2）家族ミーティング（家族の語らいの場として開催）

平成 21 年 6 月～平成 22 年 2 月 計 8 回開催 平均参加者 7.4 名

## 3. デイケア関連機関交流会

平成 21 年度より関係機関職員による運営委員会を設置し、4 回開催した。各回、デイケア運営等についてグループワーク形式で意見交換を行った。

第 1 回	平成 21 年 7 月 4 日	会場：湖南病院	参加：20 名
第 2 回	9 月 5 日	瀬田川病院	18 名
第 3 回	12 月 5 日	湖南クリニック	16 名
第 4 回	平成 22 年 3 月 7 日	八幡青樹会病院	16 名

## 4. 技術協力

作業療法学生の臨床実習・見学実習の受け入れを下記の通り行った。

（臨床実習）	京都大学医学部人間健康学科	6 月 1 日～7 月 31 日	1 名
		10 月 5 日～12 月 4 日	1 名
（見学実習）	佛教大学医療技術学部	6 月 15 日～8 月 10 日	1 名
	大阪医療福祉専門学校	10 月 19 日～12 月 12 日	1 名
	佛教大学医療技術学部	2 月 8 日～2 月 10 日	1 名



### Ⅲ. 看 護 部 門

## 概 要

### 1. 看護部体制について

精神科医療や看護のあり方が問われるようになり、平成 16 年に精神保健医療福祉の改革ビジョンが示されて以降、入院医療中心から地域生活を目指す方向に大きく変化してきた。

これを受けて当センターにおいても、医療や看護のあり方を見直すことが求められる変革の時代を迎えている。また、来年度の病院機能評価 Ver 6 への認定更新に向けて、職員が一丸となって取り組む一年となった。

そこで、看護部では平成 21 年度の活動目標を「変革の時代、多職種との協働で着実に前進しよう！」とし、バランススコアカードに沿って戦略目標を以下のように掲げ、活動した。

- 顧客の視点：急性期への対応、退院促進、継続看護の推進
- 財務の視点：コスト意識を高め、病床の有効利用に貢献
- 内部プロセスの視点：業務改善の促進、役割行動の実践
- 学習と成長の視点：知識・技術の向上、自己啓発の促進

以上の目標達成に向けて、各部署、そしてスタッフ一人ひとりに至るまで、年間目標を設定しチャレンジした結果、それぞれの課題を次年度につなぎ一年間を終えた。

### 2. 各部署の状況について

第一病棟では、昨年度新設された地域生活支援室の多職種スタッフとの協働で、一年以上の長期入院患者を対象とした退院支援プログラム「なないろ」を開始した。毎週水曜日の午前中を基本として、5月と8月から13回を1クールとし、病気や薬の管理などの学習から買い物や調理などの生活体験、さらには社会資源の見学など、地域での生活に向けた支援を行った。

また、滋賀県湖南圏域における「退院促進事業」を受け入れることになり、2名の患者が事業を利用し、地域から自立支援員の関わりも始まった。いずれも長期入院の患者であり退院についてはまだ先が具体的に見えないが、関係機関も含めて多職種で患者の思いに寄り添いながら前向きに取り組んでいる。

また、平成 21 年 4 月より隣接している滋賀県立精神保健福祉センターに精神科救急情報センターが開設され、滋賀県の新たな精神科救急医療システムがスタートした。このため、県内 3 ブロックの後方を支援する病院として、いつでも救急患者の受け入れができるように連日、保護室または準保護室の空床確保に努め、県立病院としての役割を果たしてきた。

11 月からは第二病棟が急性期治療病棟として本格稼動することになり、従来の思春期治療病棟としての役割から大きく変化した。第一病棟はアルコール依存症と長期入院患

者の受け入れ病棟として、第二病棟は急性期治療病棟として特化し、まさに変革の時代に合わせた看護を展開することになった。

外来では、こうした状況から医療と地域生活との継続看護を推進させるために、圏域を超えた訪問看護を実施。安定した患者は地域の訪問看護ステーションへの移行をはかった。

次年度に向けては、急性期治療を短期間で終えて長期化させないためのシステムの構築が課題とされる。

### 3. 看護職員の動向について

平成 21 年度も県立 3 病院における人事交流がなされ、3 名の職員が対象となった。引き続き組織の活性化を図るため、さらには教育的視点から人事交流は必要な方策として実施される事が望まれる。

### 4. 看護職員の継続教育について

看護実践能力の向上を図るため、昨年度に引き続き自己啓発を重視し、職員一人ひとりがチャレンジシートを用いて年間の目標立案と実施・評価を行っている。院内においては、現任教育委員会を中心に新人教育からリーダー育成など段階に応じた役割が担えるように「新採・プリセプター合同研修会」や「リーダーコース研修会」などを企画・実施してきた。

また、精神科看護師としてのキャリア開発に向けては、院外の研修会・学会等への参加もできるだけ希望に添う支援を行っており、平成 21 年度は日本精神科看護技術協会の認定看護師資格取得に向けて 2 名が受講。その他、例年通り CVPPP 研修会や臨床実習指導者講習会など、年間 60 を超える研修会・学会等に参加している。

### 5. 看護業務について

看護部では、来年度の病院機能評価 Ver 6 認定更新に向けて、業務改善委員会を中心に日々の看護業務を振り返り、看護基準や手順等、各種マニュアルの見直しを行った。

### 6. 看護学生の臨地実習の受け入れについて

平成 21 年度は、看護系大学 2 校・専門学校 1 校の精神看護臨地実習施設として、延べ 916 名の看護学生を受け入れた。夏期休暇期間には県立大学からの人間看護学統合実習も 4 年目となり、看護のあり方を追求する集大成としての実習が展開されている。

看護学生の臨地実習を受け入れるにあたっては、各病棟 4 名ずつ実習指導者を任命し、できるだけ充実した臨地実習となるよう努めているところである。

<患者状況>

入院患者状況

(単位:人)

病棟		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
1病棟	入院	6	12	9	12	9	5	5	9	7	6	6	8	94	7.8
	退院	7	9	15	11	5	14	8	6	10	8	6	11	110	9.2
	転入	3	2	1	0	2	0	2	4	3	0	3	1	21	1.8
	転出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	外出	9	10	10	16	8	17	9	2	10	9	12	14	126	10.5
	外泊	55	105	75	73	71	109	109	62	105	126	88	82	1,060	88.3
	月末在院	38	43	38	39	45	36	35	42	42	40	43	41	482	40.2
2病棟	入院	15	15	14	14	22	19	8	18	15	13	14	19	186	15.5
	退院	15	8	19	17	12	17	11	12	13	12	14	16	166	13.8
	転入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	転出	3	2	1	0	2	0	2	4	3	0	3	1	21	1.8
	外出	7	7	7	12	11	18	13	4	7	9	12	17	124	10.3
	外泊	127	132	138	124	71	63	81	88	129	123	97	119	1,292	107.7
	月末在院	35	40	34	31	39	41	36	38	37	38	35	37	441	36.8
合計	入院	21	27	23	26	31	24	13	27	22	19	20	27	280	23.3
	退院	22	17	34	28	17	31	19	18	23	20	20	27	276	23.0
	転入	3	2	1	0	2	0	2	4	3	0	3	1	21	1.8
	転出	3	2	1	0	2	0	2	4	3	0	3	1	21	1.8
	外出	16	17	17	28	19	35	22	6	17	18	24	31	250	20.8
	外泊	182	237	213	197	142	172	190	150	234	249	185	201	2,352	196.0
	月末在院	73	83	72	70	84	77	71	80	79	78	78	78	923	76.9

病床利用状況

病棟		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
1病棟	在院延べ患者数(人)	1,148	1,191	1,190	1,221	1,266	1,272	1,171	1,117	1,309	1,267	1,200	1,311	14,663	1,221.9
	病床利用率(%)	76.5	76.8	79.3	78.8	81.7	84.8	75.5	74.5	84.5	81.7	85.7	84.6	/	80.3
2病棟	在院延べ患者数(人)	1,108	1,131	1,153	1,069	1,215	1,224	1,215	1,157	1,178	1,143	1,049	1,192	13,834	1,152.8
	病床利用率(%)	73.9	73.0	76.9	69.0	78.4	81.6	78.4	77.1	76.0	73.7	74.9	76.9	/	75.8
合計	在院延べ患者数(人)	2,256	2,322	2,343	2,290	2,481	2,496	2,386	2,274	2,487	2,410	2,249	2,503	28,497	2,374.8
	病床利用率(%)	75.2	74.9	78.1	73.9	80.0	83.2	77.0	75.8	80.2	77.7	80.3	80.7	/	78.1

個室利用状況

病棟		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
1病棟 12床	個室延べ利用数(人)	334	347	343	338	359	358	360	348	369	371	334	367	4,228	352.3
	利用率(%)	92.8	93.3	95.3	90.9	96.5	99.4	96.8	96.7	99.2	99.7	99.4	98.7	/	96.5
2病棟 12床	個室延べ利用数(人)	328	339	329	348	366	332	365	353	365	368	333	361	4,187	348.9
	利用率(%)	91.1	91.1	91.4	93.5	98.4	92.2	98.1	98.1	98.1	98.9	99.1	97.0	/	95.6
合計 24床	個室延べ利用数(人)	662	686	672	686	725	690	725	701	734	739	667	728	8,415	701.3
	利用率(%)	91.9	92.2	93.3	92.2	97.5	95.8	97.5	97.4	98.7	99.3	99.3	97.9	/	96.1

### 保護室利用状況

病棟		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
1病棟 (2床)	保護室延べ利用数(人)	31	38	42	43	53	47	46	42	37	45	40	41	505	42.1
	利用率(%)	51.7	61.3	70.0	69.4	85.5	78.3	74.2	70.0	59.7	72.6	71.4	66.1	/	69.2
2病棟 (2床)	保護室延べ利用数(人)	17	21	30	26	11	37	14	35	51	43	41	39	365	30.4
	利用率(%)	28.3	33.9	50.0	41.9	17.7	61.7	22.6	58.3	82.3	69.4	73.2	62.9	/	50.0
合計 (4床)	保護室延べ利用数(人)	48	59	72	69	64	84	60	77	88	88	81	80	870	72.5
	利用率(%)	40.0	47.6	60.0	55.6	51.6	70.0	48.4	64.2	71.0	71.0	72.3	64.5	/	59.6

### 訪問看護

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
訪問看護	11	7	9	17	5	5	18	7	14	16	14	25	148	12.3

※小数点第2位以下は四捨五入

### 看護度分布

平均分布(単位:%)

病棟	自由度/看護度	A	B	C	合計
1病棟(50床)	I	4.2	0.3	0.0	4.5
	II	7.3	6.9	2.1	16.3
	III	11.5	16.8	16.6	44.9
	IV	4.9	8.1	21.1	34.1
	計	28.0	32.1	39.9	100.0
2病棟(50床)	I	16.2	0.0	0.0	16.2
	II	14.3	4.5	0.0	18.8
	III	12.3	13.4	6.3	32.0
	IV	7.2	12.9	12.9	33.0
	計	50.0	30.9	19.2	100.0
合計	I	10.0	0.2	0.0	10.2
	II	10.7	5.8	1.1	17.6
	III	11.9	15.1	11.6	38.6
	IV	6.0	10.5	17.1	33.6
	計	38.6	31.6	29.8	100.0

### 看護度・自由度

看護度		自由度	
A	<b>絶えず観察が必要</b> ・重症患者 ・医療、看護処置が困難な患者 ・意識障害の高度な患者 ・精神障害の高度な患者	I	<b>常に寝たまま</b> ・環境の整理 看護職員が行う ・身の回りの世話
		II	<b>ベッドの上で身体が起こせる</b> ・環境の整理 看護職員が介助、または行う ・身の回りの世話
B	<b>1～2時間毎に観察が必要</b> ・重傷者に準じ要注意の患者 ・症状は安定しているが医療・看護処置を多く必要とする患者 ・精神障害の中程度の患者	III	<b>室内歩行ができる</b> ・環境の整理 患者と看護職員が共に行う ・身の回りの世話 患者自身が行う又は介助する
		IV	<b>日常生活にほとんど不自由がない</b> ・環境の整理 患者自身が行う ・身の回りの世話
C	<b>継続した観察は特に必要としない</b> ・看護観察の程度A・B以外の患者		

環境の整理・・・ベッドの整理等  
身の回りの世話・・・食事・排泄物の処理、更衣・身体の清潔  
体位交換・朝夕の洗面

## 事 故 状 況

(単位:件)

無断離院	暴力行為(对患者)	暴力行為(対看護者)	器物破損	転倒・転落	誤薬	その他
3	2	4	1	4	8	12

※その他:自傷行為、バルンカテーテル自己抜去、ルートトラブル、針刺しなど

### <看護職員の状況>

採用・退職・長期休暇(産前産後育休取得・病気休暇等)状況

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
採用	3												3
転入	1												1
転出													0
退職												3	3
産前・産後・育休	4	4	4	4	4	4	4	4	4	5	5	5	/
育児短時間	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	/
病気休暇						1	1	1	1				/
長期休暇	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	/
深夜業務制限	2	2	2	3	3	2	2	2	2	3	3	3	/

※深夜業務制限者には妊娠による夜勤免除申請者も含む

### 年齢構成表

年齢(歳)	～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～	合計
人数(人)	4	9	8	18	9	7	8	63
構成比(%)	6.3	14.3	12.7	28.6	14.3	11.1	12.7	100.0

※平成22年3月31日現在(平均年齢37.9歳)

### 在職年数

年数(年目)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
人数(人)	4	6	5	2	4	1	5	4	2	2	1	2
年数(年目)	13	14	15	16	17	18以上	/	/	/	/	/	合計
人数(人)	4	1	5	2	3	10	/	/	/	/	/	63

※平成22年3月31日現在(平成元年開設準備室～)

### 【院内勉強会活動】

年月日	主題・内容	対象者	担当部・講師等
平成21年7月9日	救急時の対応について(演習)	全職員	リスクマネジメント部会
平成21年10月2日	新型インフルエンザについて(1回目)	全職員	院内感染防止委員会
平成21年10月22日	発達障害について	全職員	看護部現任教育委員会
平成21年11月20日	新型インフルエンザについて(2回目)	全職員	院内感染防止委員会
平成21年12月4日	新型インフルエンザについて(3回目)	全職員	院内感染防止委員会
平成21年12月21日	CVPPP勉強会	全職員	看護部現任教育委員会
平成22年2月8日	救急時の対応について(演習)	全職員	リスクマネジメント部会
平成22年2月25日	研究および実践発表会	全職員	看護部現任教育委員会

### 【研究活動・学術講演】

平成21年11月7日(土)～8日(日) 第17回 関西アルコール関連問題学会滋賀大会  
 分科会1「高齢アルコール依存症者への対策」 滋賀県の専門医療機関の立場から 話題提供者:松田久範



## IV. 地域生活支援室



## 概 要

地域生活支援室は、平成 20 年度から設置された部署で、医師（診療局長と室長を兼務）1 名、ケースワーカー 1 名・精神保健福祉士 2 名（うち常勤保健師 1 名と非常勤嘱託 1 名）・臨床心理士 2 名（非常勤 1 名含）・作業療法士 1 名・看護師 1 名の多職種で構成されている。

従来の生活療法科の業務に加え、長期入院患者の退院促進や地域生活安定のための支援をチームで取り組んでいる。

- （1）経済的・心理的・社会的及び家族関係等の問題解決を援助し、患者が主体的に医療に取り組み、社会参加できるように援助する。
- （2）生活障害の軽減に向けて援助する。
- （3）関係機関との連携により、社会的阻害からの回復を図る。
- （4）地域生活支援室が中心となり、多職種のチームで長期入院患者の退院促進や地域生活の安定を図る。

### 1. ケースワーク業務

病気から派生する様々な社会的ハンディキャップを軽減するため、面接相談、電話相談、訪問、同行等の方法により患者や家族に対し援助を行っている。年金・生活保護等の経済的問題や社会復帰施設の利用に関する調整、社会資源の利用に関する相談・援助など援助内容は多岐に渡る。

援助にあたっては医師、看護師、他のコメディカルスタッフと連携しつつ、社会福祉的な視点から、問題にアプローチしている。

また、患者の生活を総合的・側面的に支援するために、患者が生活する地域の関係機関と密接に連携する必要があることから、県、市町、社会復帰施設、職業安定所等の関連機関との連絡調整にあっている。

その他、アルコール講座、アルコール家族教室、統合失調症圏家族教室、統合失調症圏本人教室、入院生活技能訓練療法の参画や、看護師と協働で精神科訪問看護指導を行っている。

### 2. 臨床心理士業務

心理検査、個人心理面接、入院集団精神療法などを中心に活動している。

#### （1）心理検査

外来・病棟ともに、心理検査件数は前年度と同程度であり、月に 2 2 件前後の検査を行った。心理検査は、主治医の判断のもとで依頼されるため、件数についてのコントロールは担当者である臨床心理技術者自身にはできない。ただ、臨床像だけでは見えてこない心理特性の一面をかいま見ることのできる心理検査は、治療方針を検討する上で大変有効な手段の一つであると考えているので、今後も積極的にその有用性をアピールしていきたい。

心理検査結果の患者本人へのフィードバックについては、施行時に検査結果を「聞きたい

か否か」を本人に確認し、希望があった場合のみ結果の説明を行っている。

またテストによっては、「本人返し用所見」を作成して手渡すという方法を定着させている。

#### (2) 個人心理面接

今年度は、外来・病棟合わせて、月に延べ19人前後の心理面接を行った。

内容的には主に、神経症者、うつ病者に対する個人心理療法を中心としている。医学モデルという枠にとらわれることなく、一人一人異なる「こころのあり方」に対して丁寧に触れていける面接を心がけている。

#### (3) 入院集団精神療法

1 病棟アルコールリハビリテーションプログラム（ARP）の一つである病棟ミーティングとしての入院集団精神療法と、2 病棟における入院生活技能訓練に、医師・看護師・作業療法士と共に参加、運営を行っている。

2 病棟では安心して自己表現することを促進する目的で、入院集団精神療法を行った。

今年度は、2 病棟で新しくアートセラピーのグループをレクリエーションの一部として看護師とともに行った。

今後は患者層の推移に従い、臨機応変にプログラムの内容を変更することが必要になってくると思われる。

### 3. 作業療法士業務

内容は前年度と同様、病棟における入院生活技能訓練療法、個別作業療法、身体的作業療法、職業前評価、各病棟レクリエーションへの参加であった。詳細については以下のとおりである。

#### (1) 各病棟における入院生活技能訓練療法

1 病棟では、ARP内での革細工を用いたグループ援助、一般患者へは、簡単な手工芸を中心としたプログラム、また、長期入院患者を対象とした退院支援プログラムを実施した。

2 病棟では、急性期を脱したばかりの方でも参加しやすいよう、手工芸や園芸プログラムを実施した。

#### (2) 個別作業療法

集団に属することの難しい方や種々の事情により、入院が長期化している方に対して退院支援や、興味・行動の幅を広げることを目的として個々に援助を行った。

#### (3) 身体的作業療法

医師からの処方にもとづき、身体疾患を合併している患者に対しての身体的リハビリテーションプログラムの作成と、機能訓練や生活上の指導等を行った。

#### (4) 職業前評価

医師からの処方にもとづき職業前評価を実施した。

#### (5) 各病棟レクリエーションへの参加

各病棟の看護師主催の定例レクリエーションプログラムに参加した。

## 4. 看護に関する業務

### (1) 病棟との連携

随時、各病棟において入院患者の情報収集や、病棟看護師の退院支援に関する相談に助言を行うなどのサポートを行った。また、多職種チームによる長期入院患者のカンファレンスを主体的に調整し、一年以上の長期入院患者4名の退院を支援した。

従来、当センターには退院調整のシステムがなく、支援の偏りや病棟看護師に調整の状況が分かりにくいなどの問題があった。

これらを解決するために、今年度「退院調整のフロー図やツール類(案)」を作成した。

今後、退院調整がフローに沿って展開されること、ツール類の実用化が課題となる。

### (2) 退院支援プログラム「なないろ」

平成21年度から、第一病棟で長期入院の患者を対象にした院内の退院支援プログラム「なないろ」を企画・運営し、精神障害と長期の入院によって低下した日常生活機能の改善を図るための取り組みを病棟と多職種協働で行った。

患者は、プログラムが刺激になり症状の揺れは見られるが、対人関係や服薬管理において良い変化が見られた。

実施期間 基礎編：5月20日～8月12日 対象者8名(統合失調症等)

応用編：8月19日～11月18日 対象者9名(統合失調症等)

### (3) 「退院促進事業」の受け入れ

今年度から「湖南地域精神障害者退院促進事業」を受け入れることになり、その窓口として自立支援員や関係機関への連絡・調整、ケース会議の運営、各種会議への参加等を担当する。どちらも長期入院の患者であり、退院について具体的に先が見えない状況であるが、患者と関係機関も含めて多職種で考えながら前向きに取り組んでいる。

対象患者2名：40歳代の男性 統合失調症 入院期間(5年)

50歳代の男性 統合失調症 入院期間(9年)

## 5. 心理教育プログラム

医局や看護部(各病棟、外来)と協力し、以下のプログラムを実施した。

### (1) 統合失調症圏家族教室

5回1クールで、年1クール実施している。家族のしんどさが素直に語られ、病気についての知識を提供する場合は、家族・スタッフ間で概ね好評であった。

### (2) 統合失調症圏本人教室

4回1クールで、年1クール実施している。心理教育・家族教室ネットワーク研究集会で報告をした。今後は、病院の機能の変化にあわせた形態の変化を検討する予定である。

### (3) アルコール家族ミーティング

月1回開催している。様々な状況下にあるメンバーが素直に意見を出しあう中で、自助機能を果たす事の出来るグループとなっている。

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
外 来	個別援助	面接	13	33	42	39	35	50	43	23	31	28	32	30	399
		電話	18	12	21	23	6	12	6	9	9	18	9	5	148
		訪問	5	2	2	15	1	1	7	1	1	6	5	7	53
		その他		2	2					3	1	8		1	17
	集団援助	ARP					4					2	4		10
		集団精					8			12	4				24
		AI家族	3	2			2				1	2		1	11
		S圏						14	4				3		21
	心理検査	人格		1	3	1	1		6	5	2	9	3	2	33
		知能	1	2	1	4	3	6	6	7	6	7	2	3	48
		その他													0
		面接	8	1	13	15	7	11	12	19	14	10	8	13	131
	作業	身体													0
		職業													0
個別														0	
カンファレンス		2	3	4	11	2	5	3	4	7	8	7	11	67	
地域連携		43	61	67	74	54	43	58	48	62	81	64	72	727	
外来合計		93	119	155	182	123	142	145	131	138	179	137	145	1,689	
入 院	個別援助	面接	32	36	59	68	85	69	54	56	60	73	80	73	745
		電話	5	1	5	7	10	11	9	16	6	12	9	9	100
		訪問	3	3	2		1	1	1	6	9	1	4	5	36
		その他	2		1	3	2	5	4	10	6	20	8	11	72
	集団援助	ARP	8	1	36	52	39	66	63	25	39	53	68	73	523
		集団精	2		12		7	33		1		24	26	17	122
		SST	40	106	134	155	97	111	124	79	88	54	61	52	1,101
		レク	13	4	6	8	16	35	12	5	13	31	56	56	255
	心理検査	人格	9	3	5	8	6	5	11	7	7	4	8	8	81
		知能	6	4	3	4	4	1	6	6	4	3	7	6	54
		その他	1	6	4	5	3	6	5	2	5	3	4	7	51
		面接	5	3	3	8	12	3	7	7	10	14	14	10	96
	作業	身体	16		13	8	8	3	5		2		6	17	78
		職業													0
個別		13	5	7	10	10	6	9	5	9	4	3	3	84	
カンファレンス		9	23	26	30	14	13	18	15	23	13	18	35	237	
地域連携		28	34	85	78	75	75	56	68	79	86	96	101	861	
病棟合計		192	229	401	444	389	443	384	308	360	395	468	483	4,496	
合 計		285	348	556	626	512	585	529	439	498	574	605	628	6,185	